

対象校No. 881

注4

学校コード F127310108152

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

阪南大学 国際学部 国際観光学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人阪南大学
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	法人部経営戦略課
職名・氏名	カチヨウホ サ ウエソノ コウジ 課長補佐・上園 康司
電話番号	072-335-7997 (直通)
(夜間)	072-335-7997 (直通)
e-mail	k-senryaku@hannan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))

表題は以下の例を参考に記入してください。

例)

- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・「〇〇短期大学 △△学科」
- ・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜国際観光学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人阪南大学

(2) 大 学 名

阪南大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒580-8502

大阪府松原市天美東五丁目4番33号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カトウ キヨタカ) 加藤 清孝 (令和5年4月1日)		
学 長	(ヒラヤマ ヒロシ) 平山 弘 (令和6年4月1日)		
学 部 長	(マツムラ ヨシヒサ) 松村 嘉久 (令和6年4月1日)	(イノウエ ユウジ) 井上 裕司 (令和7年4月1日)	任期満了に伴う学部長変更のため(7)
学科長等	(マツムラ ヨシヒサ) 松村 嘉久 (令和6年4月1日)	(フクモト ケンタ) 福本 賢太 (令和7年4月1日)	任期満了に伴う学科長(副学部長)変更のため(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告済の内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和8年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合にそれらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際観光学科 学士（国際観光学）	文学関係 社会学・社会 福祉学関係	4 年	144 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	580 人	—	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	144 (—) [—]	人 (—) [—]	144 (—) [—]	人 (—) [—]	144 (2) [—]	人 (—) [—]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.97倍	倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1180 (—) [5]	— (—) [—]	1229 (—) [4]	— (—) [—]	1718 (2) [10]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1135 (—) [5]	— (—) [—]	1265 (—) [4]	— (—) [—]	1688 (2) [10]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1029 (—) [5]	— (—) [—]	996 (—) [4]	— (—) [—]	1034 (2) [8]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	87 (—) [2]	— (—) [—]	176 (—) [4]	— (—) [—]	173 (2) [7]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	—		—		—		0.60		1.22		1.2					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ー③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	83 [2] (ー)	－ [ー] (ー)	174 [4] (ー)	－ [ー] (ー)	173 [7] (ー)	－ [ー] (ー)	※3年次の79名のうち、2名は令和8年度編入学生
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	80 [2] (ー)	－ [ー] (ー)	173 [4] (ー)	－ [ー] (ー)		
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	79 [2] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)			－ [ー] (ー)	83 [2] (ー)	254 [6] (ー)	425 [13] (ー)			

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留學生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	83 人	4 人	令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	4 人	0 人	進路・目的変更(1人)、就職希望(1人)、勉学意欲喪失(1人)、一身上の都合(1人)
令和7年度	254 人	5 人	令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	3 人	0 人	就職希望(1人)、勉学意欲喪失(1人)、除籍(1人)
			令和7年度	2 人	0 人	除籍(2人)
令和8年度	425 人	4 人	令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	2 人	0 人	他大学入学希望(1人)、病氣療養(1人)
			令和7年度	2 人	0 人	病氣療養(2人)
			令和8年度	0 人	0 人	
合 計		13 人		13 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{4}{87} = \boxed{4.59} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{5}{259} = \boxed{1.93} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{4}{429} = \boxed{0.93} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任 講師
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 発展 科目	観光交通論	2・3・4後		2		1					兼1
	観光資源解説方法論	2・3・4前		2							
	観光情報論	2・3・4後		2			1				
	観光調査法	1・2・3・4前		2				1			
	観光民俗学	2・3・4前		2		1					
	現代アメリカ文化論	2・3・4前		2							兼1
	航空産業論	2・3・4前		2			1				
	国際観光学特別講義1	2・3・4前		2							兼1
	国際観光学特別講義2	2・3・4後		2							兼1
	国際観光学特別講義3	2・3・4前		2		1					
	国際協力論	2・3・4後		2		1					
	国際平和論	2・3・4前		2		1					
	集客産業施設運営論	2・3・4前		2		1					
	宿泊産業論	2・3・4前		2		1					
	食文化論	2・3・4後		2		1					
	世界遺産論	2・3・4前		2							兼1
	多文化社会論	2・3・4後		2							兼1
	地域データ分析	2・3・4後		2			1				
	文化財論	2・3・4後		2		1					
	民間協力(NGO/NPO)論	2・3・4後		2		1					
	旅行ビジネス論	2・3・4前・後		2		1					
	小計(43科目)	-	0	86	0	9	5	0	0	0	兼12
国際 教養 科目	アジアの美術	2・3・4後		2							兼1
	マクロ経済学	2・3・4前		4							兼1
	ミクロ経済学	2・3・4前		4							兼1
	ヨーロッパ芸術論	2・3・4後		2							兼1
	音楽産業論	2・3・4前		2							兼1
	現代企業事情	2・3・4前		2		1					
	現代地理学a	1・2・3・4前		2							兼1
	現代地理学b	1・2・3・4後		2							兼1
	国際経済学	2・3・4前		4							兼1
	国際社会と人間	2・3・4後		2							兼1
	国際政治経済論	2・3・4後		2							兼1
	宗教と社会	2・3・4後		2							兼1
	消費者の心理	2・3・4前		2							兼1
	世界地誌学a	2・3・4前		2		1					
	世界地誌学b	2・3・4後		2		1					
	西洋史概論a	1・2・3・4前		2							兼1
	西洋史概論b	1・2・3・4後		2							兼1
	対人コミュニケーション心理学	2・3・4前		2							兼1
	哲学概論a	2・3・4前		2							兼1
	哲学概論b	2・3・4後		2							兼1
	東洋史概論	1・2・3・4後		2							兼1
	日本経済論1	2・3・4前		2							兼1
	日本経済論2	2・3・4後		2							兼1
	日本史概論1	1・2・3・4後		2							兼1
	日本史概論2a	1・2・3・4前		2			1				
	日本史概論2b	1・2・3・4後		2			1				
	日本地誌学a	1・2・3・4前		2							兼1
	日本地誌学b	1・2・3・4後		2							兼1
	日本文化史a	2・3・4前		2							兼1
	日本文化史b	2・3・4後		2							兼1
	博物館概論	1・2・3・4前		2		1					
	文化交流史1	2・3・4後		2			1				兼1
	文化交流史2	2・3・4前		2							兼1
	文化交流史3	2・3・4後		2							兼1
	文化地理学a	1・2・3・4前		2							兼1
	文化地理学b	1・2・3・4後		2							兼1
	法学概論1	1・2・3・4前		2							兼1
	法学概論2	1・2・3・4後		2							兼1
	倫理学概論a	2・3・4前		2							兼1
	倫理学概論b	2・3・4後		2							兼1
	小計(40科目)	-	0	86	0	3	1	0	0	0	兼19
観光 コミュニケーション 科目 (英語)	Advanced English Reading 3	2・3・4前		1							兼1
	Advanced English Reading 4	2・3・4後		1							兼1
	Business English	2・3・4後		1							兼1
	Debate and Discussion	2・3・4後		1							兼1
	Presenting in English 1	2・3・4前		1			1				
	Presenting in English 2	2・3・4後		1			1				
	Topic Studies	2・3・4前		1							兼1
	ドラマで学ぶ英語	2・3・4前		1							兼1
	ホスピタリティ英語 1	2・3・4前		1			1				
	ホスピタリティ英語 2	2・3・4後		1			1				
	メディア・イングリッシュ1	1・2・3・4前・後		1			1				兼4
	メディア・イングリッシュ2	1・2・3・4前・後		1			1				兼4
	メディア・イングリッシュ3	2・3・4前・後		1			1				兼4
	メディア・イングリッシュ4	2・3・4前・後		1			1				兼4
	英語アドバンスコミュニケーション1	1・2・3・4前・後		2			1				兼1
	英語アドバンスコミュニケーション2	1・2・3・4前・後		2			1				兼1
	英語コミュニケーション1	1・2・3・4前・後		2			1				兼1
	英語コミュニケーション2	1・2・3・4前・後		2			1				兼1
	英語留学入門	1・2前		1							兼2
	資格ビジネス英語1	1・2・3・4前		1							兼1
観光 コミュニケーション 科目 (中国語)	資格ビジネス英語2	1・2・3・4後		1							兼1
	資格ビジネス英語3	1・2・3・4前		1							兼1
	資格ビジネス英語4	1・2・3・4後		1							兼1
	通訳入門	2・3・4前		1							兼1
	翻訳入門	2・3・4後		1							兼1
	小計(25科目)	-	0	29	0	0	1	0	0	0	兼10
	ネットビジネス中国語	1・2・3・4後		1							兼2
	ポスト留学中国語	2・3・4後		1							兼1
	接客のための中国語	2・3・4前		1							兼1
	台湾華語	1・2・3・4前		1							兼2
観光 コミュニケーション 科目 (韓国語)	中国語コミュニケーション1	1・2・3・4前		2							兼3
	中国語コミュニケーション2	1・2・3・4前		2							兼3
	中国語コミュニケーション3	2・3・4前		2							兼1
	中国語コミュニケーション4	2・3・4後		2							兼1
	中国語で日本案内	2・3・4前		1							兼1
	韓国語ビジネス1	2・3・4前		2							兼1
	韓国語ビジネス2	2・3・4後		2							兼1
	韓国語検定講座a	1・2・3・4前		1							兼2
	韓国語検定講座b	1・2・3・4後		1							兼2
	韓国語実用会話1	1・2・3・4前		1							兼2

【令和7年度】				単位数		専任教員等の配置						兼任・兼用
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
一般教育科目	語学群	スペイン語1	1・2・3・4前		1							兼1
		スペイン語2	1・2・3・4後		1							兼1
		スペイン語3	1・2・3・4前		1							兼1
		スペイン語4	1・2・3・4後		1							兼1
		ドイツ語1	1・2・3・4前		1							兼2
		ドイツ語2	1・2・3・4後		1							兼2
		ドイツ語3	1・2・3・4前		1							兼1
		ドイツ語4	1・2・3・4後		1							兼1
		ドイツ語5(未開講)	2・3・4前		1							兼1
		ドイツ語6	2・3・4後		1							兼1
		フランス語1	1・2・3・4前		1							兼2
		フランス語2	1・2・3・4後		1							兼2
		フランス語3	1・2・3・4前		1							兼2
		フランス語4	1・2・3・4後		1							兼2
	フランス語5	2・3・4前		1							兼1	
	フランス語6	2・3・4後		1							兼1	
	言語圏研究群	小計(16科目)		0	16	0	0	0	0	0	0	兼8
		コリア語圏研究a	1・2・3・4前		2							兼1
		コリア語圏研究b	1・2・3・4後		2							兼1
		スペイン語圏研究a	1・2・3・4前		2							兼1
スペイン語圏研究b		1・2・3・4後		2							兼1	
ドイツ語圏研究a		1・2・3・4前		2							兼1	
ドイツ語圏研究b		1・2・3・4後		2							兼1	
フランス語圏研究a		1・2・3・4前		2							兼1	
フランス語圏研究b		1・2・3・4後		2							兼1	
英語圏研究a		1・2・3・4前		2							兼3	
英語圏研究b	1・2・3・4後		2							兼3		
人間・文化研究群	現代日本事情a	1・2・3・4前				3		3			兼2	
	現代日本事情b	1・2・3・4後				1		2			兼7	
	中国語圏研究a	1・2・3・4前									兼1	
	中国語圏研究b	1・2・3・4後									兼1	
	小計(14科目)		0	28	0	3	3	0	0	0	兼17	
	外国文学a	1・2・3・4前		2							兼2	
	外国文学b	1・2・3・4後		2							兼2	
	教育学a	1・2・3・4前		2							兼1	
	教育学b	1・2・3・4後		2							兼1	
	心理学a	1・2・3・4前		2							兼1	
	心理学b	1・2・3・4後		2							兼1	
	地理学a	1・2・3・4前		2							兼2	
	地理学b	1・2・3・4後		2							兼2	
	哲学a	1・2・3・4前		2							兼2	
哲学b	1・2・3・4後		2							兼2		
歴史・社会研究群	日本文学a	1・2・3・4前				1						
	日本文学b	1・2・3・4後				1						
	文化人類学a	1・2・3・4前									兼1	
	文化人類学b	1・2・3・4後									兼1	
	倫理学a	1・2・3・4前									兼2	
	倫理学b	1・2・3・4後									兼2	
	論理学a	1・2・3・4前									兼2	
	論理学b	1・2・3・4後									兼2	
	小計(18科目)		0	36	0	1	0	0	0	0	兼11	
	経済学a	1・2・3・4前		2							兼1	
	経済学b	1・2・3・4後		2							兼1	
	現代史a	1・2・3・4前		2							兼1	
	現代史b	1・2・3・4後		2							兼1	
	社会学a	1・2・3・4前		2							兼1	
社会学b	1・2・3・4後		2							兼1		
人権問題論a	1・2・3・4前		2							兼1		
人権問題論b	1・2・3・4後		2							兼1		
政治学a	1・2・3・4前		2							兼1		
政治学b	1・2・3・4後		2							兼1		
西洋史a	1・2・3・4前		2							兼1		
西洋史b	1・2・3・4後		2							兼1		
東洋史a	1・2・3・4前		2							兼1		
東洋史b	1・2・3・4後		2							兼1		
日本国憲法	1・2・3・4前		2							兼1		
日本史a	1・2・3・4前		2				1			兼1		
日本史b	1・2・3・4後		2				1			兼1		
法学a	1・2・3・4前		2							兼1		
法学b	1・2・3・4後		2							兼1		
小計(19科目)		0	38	0	0	1	0	0	0	0	兼10	

【令和6年度】					単位数		専任教員等の配置					責任・兼任		
科目区分	授業科目の名称	配当 年次	必	選	自	教	准	講	助	助				
			修	択	教	授	授	師	教	手				
一般教育科目	語学群	スペイン語1	1・2・3・4前		1								兼1	
		スペイン語2	1・2・3・4後		1								兼1	
		スペイン語3	1・2・3・4前		1								兼1	
		スペイン語4	1・2・3・4後		1								兼1	
		ドイツ語1	1・2・3・4前		1								兼2	
		ドイツ語2	1・2・3・4後		1								兼2	
		ドイツ語3	1・2・3・4前		1								兼1	
		ドイツ語4	1・2・3・4後		1								兼1	
		ドイツ語5	2・3・4前		1								兼1	
		ドイツ語6	2・3・4後		1								兼1	
	言語圏研究群	フランス語1	1・2・3・4前		1								兼3	
		フランス語2	1・2・3・4後		1								兼3	
		フランス語3	1・2・3・4前		1								兼3	
		フランス語4	1・2・3・4後		1								兼3	
		フランス語5	2・3・4前		1								兼1	
		フランス語6	2・3・4後		1								兼1	
		小計（16科目）	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	兼8
		言語圏研究群	コリア語圏研究a	1・2・3・4前		2								兼1
			コリア語圏研究b	1・2・3・4後		2								兼1
			スペイン語圏研究a	1・2・3・4前		2								兼1
	スペイン語圏研究b		1・2・3・4後		2								兼1	
	ドイツ語圏研究a		1・2・3・4前		2								兼1	
	ドイツ語圏研究b		1・2・3・4後		2								兼1	
	フランス語圏研究a		1・2・3・4前		2								兼1	
	フランス語圏研究b		1・2・3・4後		2								兼1	
	英語圏研究a		1・2・3・4前		2								兼4	
	英語圏研究b		1・2・3・4後		2								兼4	
	人間・文化研究群	現代日本事情a	1・2・3・4前				4		2				兼3	
		現代日本事情b	1・2・3・4後				2		1				兼7	
		中国語圏研究a	1・2・3・4前		2								兼1	
中国語圏研究b		1・2・3・4後		2								兼1		
小計（14科目）		-	0	28	0	3	2	0	0	0	0	兼19		
人間・文化研究群		外国文学a	1・2・3・4前		2								兼1	
		外国文学b	1・2・3・4後		2								兼2	
		教育学a	1・2・3・4前		2								兼1	
		教育学b	1・2・3・4後		2								兼1	
		心理学a	1・2・3・4前		2								兼1	
	心理学b	1・2・3・4後		2								兼1		
	地理学a	1・2・3・4前		2								兼2		
	地理学b	1・2・3・4後		2								兼2		
	哲学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	哲学b	1・2・3・4後		2								兼1		
	日本文学a	1・2・3・4前		2			1							
	日本文学b	1・2・3・4後		2			1							
	文化人類学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	文化人類学b	1・2・3・4後		2								兼1		
	倫理学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	倫理学b	1・2・3・4後		2								兼2		
	論理学a	1・2・3・4前		2								兼2		
	論理学b	1・2・3・4後		2								兼2		
	小計（18科目）	-	0	36	0	1	0	0	0	0	0	兼11		
歴史・社会研究群	経済学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	経済学b	1・2・3・4後		2								兼1		
	現代史a	1・2・3・4前		2								兼1		
	現代史b	1・2・3・4後		2								兼1		
	社会学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	社会学b	1・2・3・4後		2								兼1		
	人権問題論a	1・2・3・4前		2								兼1		
	人権問題論b	1・2・3・4後		2								兼1		
	政治学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	政治学b	1・2・3・4後		2								兼1		
	西洋史a	1・2・3・4前		2								兼1		
	西洋史b	1・2・3・4後		2								兼1		
	東洋史a	1・2・3・4前		2								兼1		
	東洋史b	1・2・3・4後		2								兼1		
	日本国憲法	1・2・3・4前		2								兼1		
	日本史a	1・2・3・4前		2				1				兼1		
	日本史b	1・2・3・4後		2				1				兼1		
	法学a	1・2・3・4前		2								兼1		
	法学b	1・2・3・4後		2								兼1		
小計（19科目）	-	0	38	0	0	1	0	0	0	0	兼10			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置						兼任 教員		
			必修	選択	自 修	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
学 科 科 目	観光コミュニケーション（中国語）	ネットビジネス中国語	1・2・3・4後	1	1							兼3	
		ポスト留学中国語	2・3・4後	1	1							兼1	
		接客のための中国語	2・3・4後	1	1							兼1	
		台湾華語	1・2・3・4前	1	1							兼2	
		中国語コミュニケーション1	1・2・3・4前	2	2							兼2	
		中国語コミュニケーション2	1・2・3・4後	2	2							兼3	
		中国語コミュニケーション3	2・3・4前	2	2							兼3	
		中国語コミュニケーション4	2・3・4後	2	2							兼1	
		中国語で日本案内	2・3・4後	1	1							兼1	
		中国語検定講座a	2・3・4後	1	1							兼2	
学 科 科 目	観光コミュニケーション（韓国語）	中国語検定講座b	1・2・3・4後	1	1							兼2	
		小計（11科目）	-	0	15	0	0	0	0	0	0	0	兼6
		Kpopとドラマで学ぶ韓国語	1・2・3・4前・後	1	1								兼3
		トラベル韓国語	1・2・3・4前・後	1	1								兼2
		ポスト留学韓国語	1・2・3・4前	1	1								兼3
		韓国語コミュニケーション1	1・2・3・4前	2	2							兼3	
		韓国語コミュニケーション2	1・2・3・4後	2	2							兼1	
		韓国語コミュニケーション3	2・3・4前	2	2							兼3	
		韓国語コミュニケーション4	2・3・4後	2	2							兼1	
		韓国語で日本案内	2・3・4前・後	1	1							兼2	
学 科 科 目	観光コミュニケーション（日本語）	韓国語ビジネス1	2・3・4前	2	2							兼1	
		韓国語ビジネス2	2・3・4後	2	2							兼1	
		韓国語検定講座a	1・2・3・4前	1	1							兼2	
		韓国語検定講座b	1・2・3・4後	1	1							兼2	
		韓国語実用会話1	1・2・3・4前	1	1							兼2	
		韓国語実用会話2	1・2・3・4後	1	1							兼3	
		小計（14科目）	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	兼11
		ビジネス日本語1a	2・3・4前	1	1								兼1
		ビジネス日本語1b	2・3・4後	1	1							兼1	
		ビジネス日本語2a	3・4前	1	1							兼1	
ビジネス日本語2b	3・4後	1	1							兼1			
学 科 科 目	観光コミュニケーション（日本語）	ビジネス日本語基礎a	3・4前	1	1							兼1	
		ビジネス日本語基礎b	3・4後	1	1							兼1	
		総合日本語a	2・3・4前	1	1							兼1	
		総合日本語b	2・3・4後	1	1							兼1	
		日本語レポート1a	1・2・3・4前	1	1							兼2	
		日本語レポート1b	1・2・3・4後	1	1							兼2	
		日本語レポート2a	1・2・3・4前	1	1							兼2	
		日本語レポート2b	1・2・3・4後	1	1							兼3	
		日本語レポート3a	2・3・4前	1	1							兼1	
		日本語レポート3b	2・3・4後	1	1							兼1	
学 科 科 目	観光コミュニケーション（日本語）	日本語演習a	1・2・3・4前	2	2		1					兼1	
		日本語演習b	1・2・3・4後	2	2		1					兼1	
		日本語聴解発話1a	1・2・3・4前	1	1							兼3	
		日本語聴解発話1b	1・2・3・4後	1	1							兼3	
		日本語聴解発話2a	1・2・3・4前	1	1							兼1	
		日本語聴解発話2b	1・2・3・4後	1	1							兼1	
		日本語読解1a	1・2・3・4前	1	1							兼3	
		日本語読解1b	1・2・3・4後	1	1							兼3	
		日本語読解2a	1・2・3・4前	1	1							兼2	
		日本語読解2b	1・2・3・4後	1	1							兼2	
学 科 科 目	観光コミュニケーション（日本語）	小計（24科目）	-	0	26	0	1	0	0	0	0	兼5	
		合計(325科目)	-	0	254	0	9	6	0	0	0	0	兼119
卒業要件及び履修方法													
一般教育科目30単位以上、学科科目72単位以上、加えてキャリア教育科目・他学部受講科目を合わせて合計124単位以上修得すること。													
一般教育科目のうち、「言語圏研究」群から4単位以上、「人間・文化研究」群から6単位以上、「歴史・社会研究」群から6単位以上、「自然・環境研究」群から4単位以上、「健康・スポーツ研究」群から4単位以上、「情報とAI・データサイエンス」群から6単位以上を修得し、「語学」群、「基礎教育科目」群、「後期教養教育科目」群、「自由選択科目」群と合わせて合計30単位以上を修得すること。													
学科科目のうち、学科入門科目から4単位、専門基礎科目から4単位以上、演習科目から14単位、専門基幹科目から12単位以上、専門発展科目から16単位以上、観光コミュニケーション科目から12単位以上を修得し、国際教養科目を合わせて合計72単位以上を修得すること。													
なお、履修制限単位数は以下のとおりである。													
1年次44単位、2年次46単位、3年次48単位、4年次48単位													

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 修		
			必 修	選 自	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
観光 科 目 （中国語） シ ョ ン	ネットビジネス中国語	1・2・3・4後			1							兼3	
	ポスト留学中国語	2・3・4後			1							兼1	
	接客のための中国語	2・3・4前			1							兼1	
	台湾華語	1・2・3・4前			1							兼2	
	中国語コミュニケーション1	1・2・3・4前			2							兼3	
	中国語コミュニケーション2	1・2・3・4後			2							兼3	
	中国語コミュニケーション3	1・2・3・4前			2							兼3	
	中国語コミュニケーション4	2・3・4前			2							兼3	
	中国語で日本案内	2・3・4後			1							兼2	
	中国語検定講座a	2・3・4前			1							兼2	
	中国語検定講座b	1・2・3・4前			1							兼2	
	小計（11科目）	1・2・3・4後		0	15	0	0	0	0	0	0	兼3	
	観光 科 目 （韓国語） シ ョ ン	Kpopとドラマで学ぶ韓国語	1・2・3・4前・後			1							兼3
		トラベル韓国語	1・2・3・4後			1							兼2
ポスト留学韓国語		1・2・3・4後			1							兼1	
韓国語コミュニケーション1		1・2・3・4前			2							兼3	
韓国語コミュニケーション2		1・2・3・4後			2							兼3	
韓国語コミュニケーション3		2・3・4前			2							兼2	
韓国語コミュニケーション4		2・3・4後			2							兼1	
韓国語で日本案内		2・3・4前			1							兼2	
韓国語ビジネス1		2・3・4前			2							兼1	
韓国語ビジネス2		2・3・4後			2							兼1	
韓国語検定講座a		1・2・3・4前			1							兼2	
韓国語検定講座b		1・2・3・4後			1							兼2	
韓国語実用会話1		1・2・3・4前			1							兼3	
韓国語実用会話2		1・2・3・4後			1							兼2	
小計（14科目）	—		0	20	0	0	0	0	0	0	兼9		
観光 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目 （日本語）	ビジネス日本語1a	2・3・4前			1							兼1	
	ビジネス日本語1b	2・3・4後			1							兼1	
	ビジネス日本語2a	3・4前			1							兼1	
	ビジネス日本語2b	3・4後			1							兼1	
	ビジネス日本語基礎a	3・4前			1							兼1	
	ビジネス日本語基礎b	3・4後			1							兼1	
	総合日本語a	2・3・4前			1							兼1	
	総合日本語b	2・3・4後			1							兼1	
	日本語レポート1a	1・2・3・4前			1							兼1	
	日本語レポート1b	1・2・3・4後			1							兼1	
	日本語レポート2a	1・2・3・4前			1							兼2	
	日本語レポート2b	1・2・3・4後			1							兼2	
	日本語レポート3a	2・3・4前			1							兼1	
	日本語レポート3b	2・3・4後			1							兼1	
	日本語演習a	1・2・3・4前			2							兼2	
	日本語演習b	1・2・3・4後			2							兼2	
	日本語聴解発話1a	1・2・3・4前			1							兼2	
	日本語聴解発話1b	1・2・3・4後			1							兼2	
	日本語聴解発話2a	1・2・3・4前			1							兼2	
	日本語聴解発話2b	1・2・3・4後			1							兼2	
	日本語読解1a	1・2・3・4前			1							兼2	
	日本語読解1b	1・2・3・4後			1							兼2	
	日本語読解2a	1・2・3・4前			1							兼1	
	日本語読解2b	1・2・3・4後			1							兼1	
小計（24科目）	—		0	26	0	1	0	0	0	0	兼2		
合計(325科目)		—	20	564	0	10	6	0	0	0	0	兼124	
卒業要件及び履修方法													
一般教育科目30単位以上、学科科目72単位以上、加えてキャリア教育科目・他学部受講科目を合わせて合計124単位以上を修得すること。													
一般教育科目のうち、「言語圏研究」群から4単位以上、「人間・文化研究」群から6単位以上、「歴史・社会研究」群から6単位以上、「自然・環境研究」群から4単位以上、「健康・スポーツ研究」群から4単位以上、「情報とAI・データサイエンス」群から6単位以上を修得し、「語学」群、「基礎教育科目」群、「後期教養教育科目」群、「自由選択科目」群と合わせて合計30単位以上を修得すること。													
学科科目のうち、学科入門科目から4単位、専門基礎科目から4単位以上、演習科目から14単位、専門基幹科目から12単位以上、専門発展科目から16単位以上、観光コミュニケーション科目から12単位以上を修得し、国際教養科目を合わせて合計72単位以上を修得すること。													
なお、履修制限単位数は以下のとおりである。													
1年次44単位、2年次46単位、3年次48単位、4年次48単位													

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。

(1) ―②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教員間の調整により、「ドイツ語1」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「ドイツ語2」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「ドイツ語3」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「ドイツ語4」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の減少により、「フランス語3」の教員の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「英語圏研究a」の教員の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教員間の調整により、「英語圏研究b」の教員の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教員間の調整により、「現代日本事情b」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、兼3」に変更。
- ・教員間の調整により、「教育学a」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「教育学b」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「スポーツ・トレーニングa」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・教員間の調整により、「スポーツ・トレーニングb」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・教員間の調整により、「スポーツ技術a」の教員の配置を「兼7」から「兼6」に変更。
- ・教員間の調整により、「スポーツ技術b」の教員の配置を「兼7」から「兼6」に変更。
- ・教育効果の向上を考慮し、「AIデータサイエンス総論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・教員間の調整により、「マスメディア論a」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「マスメディア論b」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「教養演習1a」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教員間の調整により、「教養演習2a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「大阪観光学」の専任教員の配置を「教授7、准教授6」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教員間の調整により、「観光歴史学」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の減少により、「大学入門ゼミa」の専任教員の配置を「教授10、准教授5」から「教授6、准教授3」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の減少により、「大学入門ゼミb」の専任教員の配置を「教授10、准教授5」から「教授6、准教授3」に変更。
- ・教育効果の向上を考慮し「文化交流史1」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教員間の調整により、「文化交流史1」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の向上を考慮し「文化交流史2」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育効果の向上を考慮し「文化交流史3」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教員間の調整により、「英語圏留学入門」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「ネットビジネス中国語」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「Kpopとドラマで学ぶ韓国語」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「韓国語実用会話1」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語レポート1b」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語レポート2a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語レポート2b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語読解発話1a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語読解発話1b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語読解1a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加により、「日本語読解1b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

【令和7年度】

- ・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語1」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語2」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語3」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語4」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修登録者無しにより、「ドイツ語5」を不開講。
- ・教員間の調整により、「フランス語1」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「フランス語2」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「フランス語3」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「フランス語4」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「英語圏研究a」の教員の配置を「兼5」から「兼3」に変更。
- ・教員間の調整により、「英語圏研究b」の教員の配置を「兼5」から「兼3」に変更。
- ・教員間の調整により、「現代日本事情a」の教員の配置を「教授3、准教授2、兼4」から「教授3、准教授3、兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「現代日本事情a」の教員の配置を「教授2、准教授1、兼7」から「教授1、准教授2、兼7」に変更。
- ・教員間の調整により、「教育学a」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「教育学b」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「哲学a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「哲学b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「スポーツ・トレーニングa」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・「AIデータサイエンス総論」の科目名を「AI・データサイエンス総論」に変更。教育効果の向上等の考慮により配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「マスメディア論a」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「マスメディア論b」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「社会人としての教養講座b」の教員の配置を「教授1、准教授1、兼2」から「教授1、准教授1、兼3」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「教育社会学」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「就職入門」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教員間の調整により、「教養演習1a」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教員間の調整により、「教養演習1b」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「教養演習2a」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「生涯学習概論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・教員の就業事情により、「未来と社会を学ぶ2」を不開講。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「インターンシップ講座」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授1、兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「発展キャリアデザイン」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員間の調整により、「国際学への招待」の教員の配置を「教授4、准教授3、兼7」から「教授3、准教授3、兼7」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「大阪観光学」の配当年次を「1後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「演習導入」の配当年次を「2前」から「2・3・4前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「基礎演習」の配当年次を「2後」から「2・3・4後」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「専門演習1a」の配当年次を「3前」から「3・4前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「専門演習1b」の配当年次を「3後」から「3・4後」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教員間の調整により、「専門演習2a」の教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教員間の調整により、「専門演習2b」の教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教員間の調整により、「卒業研究」の教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「大学入門ゼミa」の配当年次を「1前」から「1・2・3・4前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授10、准教授5」から「教授7、准教授5」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「大学入門ゼミb」の配当年次を「1後」から「1・2・3・4後」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授10、准教授5」から「教授7、准教授5」に変更。
- ・教員間の調整により、「観光開発論」の教員の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「観光人類学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「比較文化論」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「旅の文化史」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「移動の社会学」の配当年次を「2・3・4後」から「3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「現代アメリカ文化論」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・教員間の調整により、「国際観光学特別講義1」の教員の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「国際観光学特別講義2」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・教員間の調整により、「国際協力論」の教員の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「国際平和論」の教員の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「民間協力（NGO/NPO）論」の教員の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教員間の調整により、「旅行ビジネス論」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。
- ・履修登録者無しにより、「現代企業事情」を不開講。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「文化交流史1」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4後」に変更。また、教員間の調整により、教員の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「文化交流史2」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「文化交流史3」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「Topic Studies」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上等の考慮により、「メディア・イングリッシュ4」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4後」に変更。

【令和7年度】

・教員間の調整により、「英語圏留学入門」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「資格ビジネス英語2」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「接客のための中国語」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「中国語で日本案内」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教員間の調整により、「Kpopとドラマで学ぶ韓国語」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「トラベル韓国語」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「ポスト留学韓国語」の配当年次を「1・2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
・教員間の調整により、「韓国語コミュニケーション3」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「韓国語で日本案内」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4前・後」に変更。
・教員間の調整により、「韓国語実用会話1」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート1a」の教員の配置を「教授1、兼1」から「教授1、兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート1b」の教員の配置を「教授1、兼1」から「教授1、兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート2a」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート2b」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話1a」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話1b」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話2a」の教員の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話2b」の教員の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解1a」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解1b」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解2a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解2b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

【令和8年度】

・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語1」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語2」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語3」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「ドイツ語4」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・履修者登録者無しにより、「ドイツ語5」を不開講。
・教員間の調整により、「フランス語1」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「フランス語2」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「フランス語3」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「フランス語4」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「英語圏研究」の教員の配置を「兼5」から「兼3」に変更。
・教員間の調整により、「英語圏研究2」の教員の配置を「兼5」から「兼3」に変更。
・教員間の調整により、「現代日本事情a」の教員の配置を「教授3、准教授2、兼4」から「教授3、准教授3、兼3」に変更。
・教員間の調整により、「現代日本事情a」の教員の配置を「教授2、准教授1、兼7」から「教授1、准教授2、兼7」に変更。
・教員間の調整により、「教育学a」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教員間の調整により、「教育学b」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「哲学a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「哲学b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「スポーツ・トレーニングa」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「スポーツ・トレーニングb」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
・「AIデータサイエンス総論」の科目名を「AI・データサイエンス総論」に変更。教育効果の向上等の考慮により配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「マスメディア論a」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の減少により、「マスメディア論b」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「教養哲学」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「教養日本史」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「社会人としての教養講座a」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
・教員間の調整により、「社会人としての教養講座b」の教員の配置を「教授1、准教授1、兼2」から「教授1、准教授1、兼5」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「教育社会学」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「教職入門」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
・教員間の調整により、「教養演習1b」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「教養演習2a」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「生涯学習概論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
・履修者登録者無しにより、「未来と社会を学ぶ2」を不開講。
・教育効果の向上等の考慮により、「インターシップ講座」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授1、兼2」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「応用キャリアデザイン」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「基礎キャリアデザインa」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「基礎キャリアデザインb」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教員間の調整により、「発展キャリアデザイン」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。また教育効果の向上等の考慮により、配当年次を「2前」から「2後」に変更。
・教員間の調整により、「国際学への招待」の教員の配置を「教授4、准教授3、兼7」から「教授4、准教授2、兼7」に変更。
・教員間の調整により、「大域観光学」の教員の配置を「教授7、准教授6」から「教授7、准教授5、兼1」に変更。
・教員間の調整により、「演習導入」の教員の配置を「教授1、准教授5」から「教授1、准教授3」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「基礎演習1a」の配当年次を「2後」から「2・3・4後」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授9、准教授4」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「専門演習1a」の配当年次を「3前」から「3・4前」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授9、准教授2」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「専門演習1b」の配当年次を「3後」から「3・4後」に変更。また教員間の調整により、教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授9、准教授3」に変更。
・履修者登録者無しにより、「専門演習2a」を不開講。
・履修者登録者無しにより、「専門演習2b」を不開講。
・教員間の調整により、「卒業研究」の教員の配置を「教授9、准教授5」から「教授9、准教授2、兼2」に変更。
・教員間の調整により、「大学入門ゼミa」の教員の配置を「教授10、准教授5」から「教授8、准教授3」に変更。
・教員間の調整により、「大学入門ゼミb」の教員の配置を「教授10、准教授5」から「教授8、准教授3」に変更。
・教員間の調整により、「観光開発論」の教員の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「観光人類学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「比較文化論」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「旅の文化史」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教員間の調整により、「観光開発論」の教員の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「アフリカの地域と観光」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「グローバル・イシュー」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「移動の社会学」の配当年次を「2・3・4後」から「3・4後」に変更。
・教員間の調整により、「観光調査法」の教員の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「現代アメリカ文化論」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
・教員間の調整により、「航空産業論」の教員の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
・履修者登録者無しにより、「国際観光学特別講義1」を不開講。
・教育効果の向上等の考慮により、「国際観光学特別講義2」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「多文化社会論」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4後」に変更。
・教員間の調整により、「旅行ビジネス論」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。
・教員間の調整により、「対人コミュニケーション心理学」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。
・教員間の調整により、「日本史概論1」の教員の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「文化交流史1」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4後」に変更。また、教員間の調整により、教員の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「文化交流史2」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「文化交流史3」の配当年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
・履修者登録者無しにより、「法学概論1」を不開講。
・教育効果の向上等の考慮により、「Debate and Discussion」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「Topic Studies」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「メディア・イングリッシュ4」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4後」に変更。
・教員間の調整により、「英語圏留学入門」の教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「資格ビジネス英語2」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「接客のための中国語」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「中国語で日本案内」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「トラベル韓国語」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「ポスト留学韓国語」の配当年次を「1・2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
・教員間の調整により、「韓国語コミュニケーション4」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育効果の向上等の考慮により、「韓国語で日本案内」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4前・後」に変更。
・教員間の調整により、「韓国語実用会話1」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・履修者登録者無しにより、「ビジネス日本語2a」を不開講。
・履修者登録者無しにより、「ビジネス日本語2b」を不開講。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート1a」の教員の配置を「教授1」から「教授1、兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート1b」の教員の配置を「教授1」から「教授1、兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート2a」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語レポート2b」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話1a」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話1b」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話2a」の教員の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語聴解発話2b」の教員の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解1a」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解1b」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解2a」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・履修者登録数に基づく、クラス数の増加により、「日本語読解2b」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

- (注) 2. (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つずつの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	316 科目	0 科目	325 科目	9 科目 [0]	316 科目 [0]	0 科目 [0]	325 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	未来と社会を学ぶ2	2	1・2・3・4後	一般	選択	科目担当者の体調不良のため
2	国際観光学特別講義 1	2	2・3・4前	専門	選択	教育効果を踏まえ開講の必要に乏しかったため
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

やむを得ない理由で未開講としたことは遺憾であるが、教育の質の担保に最大限努めたい。学生に対しては、誤った履修登録により齟齬がないよう、履修登録システム上で未開講科目を制御している。また、学生から質問があった場合は担当部局で丁寧な説明を行っている。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{325} = \boxed{0.61} \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用する学校の名称 阪南大学高等学校 収容定員1,920名 法令上の必要面積 8,400㎡ 土地売却時の実測面積 変更（8）			
	校 舎 敷 地	32,589.16㎡	0㎡	0㎡	32,589.16㎡				
	運動場用地	19,992.00 19,086.00 ㎡	49,535.00㎡	0㎡	69,527.00 68,621.00 ㎡				
	小 計	52,851.16 51,675.16 ㎡	49,535.00㎡	0㎡	102,116.16 101,210.16 ㎡				
	そ の 他	25,111.44㎡	0㎡	0㎡	25,114.44㎡				
	合 計	77,962.60 76,786.60 ㎡	49,535.00㎡	0㎡	127,227.60 126,321.60 ㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		41,885.28㎡	0㎡	0㎡	41,885.28㎡				
		41,885.28㎡	（ 0㎡）	（ 0㎡）	41,885.28㎡				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室使途の変更（7）		
		41 37室	15 10室	0室	3 16室 （補助職員 0人）	42室 （補助職員 0人）			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		令和8年3月 専任教員3名退職のため （8）		
		国際学部 国際観光学科			15 16 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位で特定不能の ため、大学全体の数	
		経営学部	580,000 [91,000] (565,000 [90,000]) (569,307 [90,343]) (573,133 [90,513])	26,200 [23,600] (26,000 [23,500]) (29,249 [25,053]) (30,074 [25,677])	24,000 [23,000] (23,800 [23,000]) (26,990 [24,508]) (27,952 [25,103])	9,500 (9,000) (7,006) (7,085)	22,000 27,952 (21,000) (27,400) (27,385)		0 (0) (0) (0)
		計	580,000 [91,000] (565,000 [90,000]) (569,307 [90,343]) (573,133 [90,513])	26,200 [23,600] (26,000 [23,500]) (29,249 [25,053]) (30,074 [25,677])	24,000 [23,000] (23,800 [23,000]) (26,990 [24,508]) (27,952 [25,103])	9,500 (9,000) (7,006) (7,085)	22,000 27,952 (21,000) (27,400) (27,385)		0 (0) (0) (0)
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	5,042㎡		744		550,000				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,754㎡		人工芝グラウンド 2面		野球グラウンド 1面				
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研究費等	630千円	630千円	図書購入費	8,500千円	2,500千円	10,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	70,000千円	2,000千円	8,000千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,290千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			入学検定料、私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等					

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（8）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		阪 南 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
経済学部	4	290	—	1150	—	1.10	—	—	昭和47	—	令和6年度から入学定員変更(280→290)		
経済学科	4	290	—	1150	学士(経済学)	1.10	—	—	昭和47	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
流通学部	4	—	—	230	—	1.07	—	—	平成8	—	令和6年度より学生募集停止		
流通学科	4	—	—	230	学士(流通学)	1.07	—	—	平成8	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
経営情報学部	4	—	—	220	—	1.12	—	—	平成8	—	令和6年度より学生募集停止		
経営情報学科	4	—	—	220	学士(経営情報学)	1.12	—	—	平成8	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
国際コミュニケーション学部	4	—	3年次2	172	—	0.93	—	—	平成9	—	令和6年度より学生募集停止		
国際コミュニケーション学科	4	—	3年次2	172	学士(国際コミュニケーション学)	0.93	—	—	平成9	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
国際観光学部	4	—	3年次2	157	—	0.77	—	—	平成22	—	令和6年度より学生募集停止		
国際観光学科	4	—	3年次2	157	学士(国際観光学)	0.77	—	—	平成22	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
経営学部	4	290	—	870	—	1.11	—	—	令和6	—	令和6年度より学生募集停止		
経営学科	4	290	—	870	学士(経営学)	1.11	—	—	令和6	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
総合情報学部	4	176	—	528	—	1.17	—	—	令和6	—	令和6年度より学生募集停止		
総合情報学科	4	176	—	528	学士(総合情報学)	1.17	—	—	令和6	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
国際学部	4	299	3年次4	901	—	1.06	—	—	令和6	—	同上		
国際コミュニケーション学科	4	155	3年次2	467	学士(国際コミュニケーション学)	1.15	—	—	令和6	大阪府松原市天美東五丁目4番33号			
国際観光学科	4	144	3年次2	434	学士(国際観光学)	0.97	—	—	令和6	同上			
大学全体	4	240	3年次10	980	—	—	—	—	—	—			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等

(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定してください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際観光学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和6年度】			【令和7年度】			【令和8年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	イ ジョンスン 李 貞順 (51) <令和6年4月> 博士(経営学)	専	教授	イ ジョンスン 李 貞順 (52) <令和6年4月> 博士(経営学)	専	教授	イ ジョンスン 李 貞順 (53) <令和6年4月> 博士(経営学)	専	教授	イ ジョンスン 李 貞順 (54) <令和6年4月> 博士(経営学)
		ホスピタリティ産業論 演習導入 ※ 観光企業論 基礎演習 国際観光学特別講義3 宿泊産業論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b			ホスピタリティ産業論 演習導入 ※ 観光企業論 基礎演習 国際観光学特別講義3 宿泊産業論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b			ホスピタリティ産業論 演習導入 ※ 観光企業論 基礎演習 国際観光学特別講義3 宿泊産業論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b			ホスピタリティ産業論 演習導入 ※ 観光企業論 基礎演習 国際観光学特別講義3 宿泊産業論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b
専	教授	イズミ ダイキ 和泉 大樹 (48) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	イズミ ダイキ 和泉 大樹 (49) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	イズミ ダイキ 和泉 大樹 (50) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	イズミ ダイキ 和泉 大樹 (51) <令和6年4月> 博士(文学)
		演習導入 ※ 基礎演習 現代日本事情 a ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 博物館概論 文化財論			演習導入 ※ 基礎演習 現代日本事情 a ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 博物館概論 文化財論			演習導入 ※ 基礎演習 現代日本事情 a ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 博物館概論 文化財論			演習導入 ※ 基礎演習 現代日本事情 a ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 博物館概論 文化財論 プロジェクト型国内実習 a プロジェクト型国内実習 b
専	教授	キタムラ タカシ 来村 多加史 (66 (高)) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	キタムラ タカシ 来村 多加史 (67 (高)) <令和6年4月> 博士(文学)						
		観光資源解説方法論 観光歴史学 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本史a 日本史b 日本史概論 1			観光資源解説方法論 観光歴史学 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本史a 日本史b 日本史概論 1						
専	教授	シオジ ユウコ 塩路 (井上) 有子 (52) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	シオジ ユウコ 塩路 (井上) 有子 (53) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	シオジ ユウコ 塩路 (井上) 有子 (54) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	シオジ ユウコ 塩路 (井上) 有子 (55) <令和6年4月> 博士(文学)
		ヨーロッパの地域と観光 演習導入 ※ 観光人類学 基礎演習 国際学への招待 ※ 食文化論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			ヨーロッパの地域と観光 演習導入 ※ 観光人類学 基礎演習 国際学への招待 ※ 食文化論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			ヨーロッパの地域と観光 演習導入 ※ 観光人類学 基礎演習 国際学への招待 ※ 食文化論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			ヨーロッパの地域と観光 演習導入 ※ 観光人類学 基礎演習 国際学への招待 ※ 食文化論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	シミズ ナホコ 清水 苗穂子 (60) <令和6年4月> 修士(文学)	専	教授	シミズ ナホコ 清水 苗穂子 (61) <令和6年4月> 修士(文学)	専	教授	シミズ ナホコ 清水 苗穂子 (62) <令和6年4月> 修士(文学)	専	教授	シミズ ナホコ 清水 苗穂子 (63) <令和6年4月> 修士(文学)
		インターンシップ講座 エコツーリズム論 演習導入 ※ 観光経済学 観光交通論 基礎演習 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			インターンシップ講座 エコツーリズム論 演習導入 ※ 観光経済学 観光交通論 基礎演習 現代日本事情 a—※ 現代日本事情 b—※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 大阪観光学 ※ 国際学への招待			インターンシップ講座 エコツーリズム論 演習導入 ※ 観光経済学 観光交通論 基礎演習 現代日本事情 a—※ 現代日本事情 b—※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 国際学への招待			インターンシップ講座 エコツーリズム論 演習導入 ※ 観光経済学 観光交通論 基礎演習 現代日本事情 a—※ 現代日本事情 b—※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 国際学への招待
専	教授	ダン カセイ 段 家誠 (52) <令和6年4月> 博士(学術)	専	教授	ダン カセイ 段 家誠 (53) <令和6年4月> 博士(学術)	専	教授	ダン カセイ 段 家誠 (54) <令和6年4月> 博士(学術)	専	教授	ダン カセイ 段 家誠 (55) <令和6年4月> 博士(学術)
		演習導入 ※ 観光開発論 基礎演習 国際学への招待 ※ 国際協力論 国際平和論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 民間協力 (NGO/NPO) 論			演習導入 ※ 観光開発論 基礎演習 国際学への招待 ※ 国際協力論 国際平和論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 民間協力 (NGO/NPO) 論			演習導入—※ 観光開発論 基礎演習 国際学への招待—※ 国際協力論 国際平和論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 民間協力 (NGO/NPO) 論			演習導入 ※ 観光開発論 基礎演習 国際学への招待 ※ 国際協力論 国際平和論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 民間協力 (NGO/NPO) 論
専	教授	ナカヤマ エリコ 中山 恵利子 (62) <令和6年4月> 教育学修士	専	教授	ナカヤマ エリコ 中山 恵利子 (63) <令和6年4月> 教育学修士	専	教授	ナカヤマ エリコ 中山 恵利子 (64) <令和6年4月> 教育学修士	専	教授	ナカヤマ エリコ 中山 恵利子 (65) <令和6年4月> 教育学修士
		ビジネス日本語 1a ビジネス日本語 1b ビジネス日本語 2a ビジネス日本語 2b 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 国際学への招待 ※ 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 日本語レポート 1a 日本語レポート 1b 日本語演習 a 日本語演習 b 日本語聴解発話 2a 日本語聴解発話 2b			ビジネス日本語 1a ビジネス日本語 1b ビジネス日本語 2a ビジネス日本語 2b 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 国際学への招待 ※ 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 日本語レポート 1a 日本語レポート 1b 日本語演習 a 日本語演習 b 日本語聴解発話 2a 日本語聴解発話 2b			ビジネス日本語 1a ビジネス日本語 1b ビジネス日本語 2a ビジネス日本語 2b 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 国際学への招待—※ 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 日本語レポート 1a 日本語レポート 1b 日本語演習 a 日本語演習 b 日本語聴解発話 2a 日本語聴解発話 2b			ビジネス日本語 1a ビジネス日本語 1b ビジネス日本語 2a ビジネス日本語 2b 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 国際学への招待—※ 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 日本語レポート 1a 日本語レポート 1b 日本語演習 a 日本語演習 b 日本語聴解発話 2a 日本語聴解発話 2b
専	教授	フクモト ケンタ 福本 賢太 (55) <令和6年4月> 修士(政策科学)	専	教授	フクモト ケンタ 福本 賢太 (56) <令和6年4月> 修士(政策科学)	専	教授	フクモト ケンタ 福本 賢太 (57) <令和6年4月> 修士(政策科学)	専	教授	フクモト ケンタ 福本 賢太 (58) <令和6年4月> 修士(政策科学)
		演習導入 ※ 観光会計論 観光経営学 基礎演習 現代企業事情 集客産業施設運営論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 旅行ビジネス論			演習導入 ※ 観光会計論 観光経営学 基礎演習 現代企業事情 集客産業施設運営論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 大阪観光学 ※ 旅行ビジネス論			演習導入 ※ 観光会計論 観光経営学 基礎演習 現代企業事情 集客産業施設運営論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 大阪観光学 ※ 旅行ビジネス論			演習導入 ※ 観光会計論 観光経営学 基礎演習 現代企業事情 集客産業施設運営論 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a— 大学入門ゼミ b— 大阪観光学 ※ 旅行ビジネス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学部長)	マツムラ ヨシヒサ 松村 嘉久 (57) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授 (学部長)	マツムラ ヨシヒサ 松村 嘉久 (58) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授 (学部長)	マツムラ ヨシヒサ 松村 嘉久 (59) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授 (学部長)	マツムラ ヨシヒサ 松村 嘉久 (60) <令和6年4月> 博士(文学)
		コミュニティツーリズム論 プロジェクト型国内実習a プロジェクト型国内実習b 演習導入 ※ 観光地理学 基礎演習 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座b ※ 世界地誌学 a 世界地誌学 b 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大阪観光学 ※			コミュニティツーリズム論 プロジェクト型国内実習a プロジェクト型国内実習b 演習導入 ※ 観光地理学 基礎演習 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座b ※ 世界地誌学 a 世界地誌学 b 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大阪観光学 ※			コミュニティツーリズム論 プロジェクト型国内実習a プロジェクト型国内実習b 演習導入 ※ 観光地理学 基礎演習 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座b ※ 世界地誌学 a 世界地誌学 b 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大阪観光学 ※			コミュニティツーリズム論 プロジェクト型国内実習a プロジェクト型国内実習b 演習導入 ※ 観光地理学 基礎演習 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座b ※ 世界地誌学 a 世界地誌学 b 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大阪観光学 ※ 大学入門ゼミa 大学入門ゼミb
		モリシゲ マサユキ 森重 昌之 (50) <令和6年4月> 博士(観光学)			モリシゲ マサユキ 森重 昌之 (51) <令和6年4月> 博士(観光学)			モリシゲ マサユキ 森重 昌之 (52) <令和6年4月> 博士(観光学)			モリシゲ マサユキ 森重 昌之 (53) <令和6年4月> 博士(観光学)
		プロジェクト型国際実習a プロジェクト型国際実習b 演習導入 ※ 観光計画論 観光資源論 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			プロジェクト型国際実習a プロジェクト型国際実習b 演習導入 ※ 観光計画論 観光資源論 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 現代日本事情 a			プロジェクト型国際実習a プロジェクト型国際実習b 演習導入 ※ 観光計画論 観光資源論 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 現代日本事情 a			プロジェクト型国際実習a プロジェクト型国際実習b 演習導入 ※ 観光計画論 観光資源論 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 現代日本事情 a
専	教授	ワシザキ ヒデカズ 斎崎 秀一 (48) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	ワシザキ ヒデカズ 斎崎 秀一 (49) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	ワシザキ ヒデカズ 斎崎 秀一 (50) <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	ワシザキ ヒデカズ 斎崎 秀一 (51) <令和6年4月> 博士(文学)
		演習導入 ※ 観光と宗教 観光民俗学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本文学a 日本文学b 旅の文化史			演習導入 ※ 観光と宗教 観光民俗学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本文学a 日本文学b 旅の文化史			演習導入 ※ 観光と宗教 観光民俗学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本文学a 日本文学b 旅の文化史			演習導入 ※ 観光と宗教 観光民俗学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本文学a 日本文学b 旅の文化史
		オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎 (48) <令和6年4月> 修士(観光学)※			オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎 (49) <令和6年4月> 修士(観光学)※			オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎 (50) <令和6年4月> 修士(観光学)※			オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎 (51) <令和6年4月> 修士(観光学)※
		演習導入 ※ 観光マーケティング論 観光情報論 基礎演習 現代日本事情a ※ 国際観光学入門 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			演習導入 ※ 観光マーケティング論 観光情報論 基礎演習 現代日本事情a ※ 国際観光学入門 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			演習導入 ※ 観光マーケティング論 観光情報論 基礎演習 現代日本事情a ※ 国際観光学入門 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			演習導入 ※ 観光マーケティング論 観光情報論 基礎演習 現代日本事情a ※ 国際観光学入門 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	コールドウェル マシュー Matthew Caldwell (56) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching Learning (アイルランド)	専	准教授	コールドウェル マシュー Matthew Caldwell (57) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching Learning (アイルランド)	専	准教授	コールドウェル マシュー Matthew Caldwell (58) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching Learning (アイルランド)	専	准教授	コールドウェル マシュー Matthew Caldwell (59) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching Learning (アイルランド)
		Presenting in English 1 Presenting in English 2 ホスピタリティ英語 1 ホスピタリティ英語 2 メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語アドバンスト・コミュニケーション 1 英語アドバンスト・コミュニケーション 2 英語コミュニケーション 1 英語コミュニケーション 2 国際学への招待 ※ 大阪観光学 ※			Presenting in English 1 Presenting in English 2 ホスピタリティ英語 1 ホスピタリティ英語 2 メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語アドバンスト・コミュニケーション 1 英語アドバンスト・コミュニケーション 2 英語コミュニケーション 1 英語コミュニケーション 2 国際学への招待 ※ 大阪観光学 ※			Presenting in English 1 Presenting in English 2 ホスピタリティ英語 1 ホスピタリティ英語 2 メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語アドバンスト・コミュニケーション 1 英語アドバンスト・コミュニケーション 2 英語コミュニケーション 1 英語コミュニケーション 2 国際学への招待 ※ 大阪観光学 ※			Presenting in English 1 Presenting in English 2 ホスピタリティ英語 1 ホスピタリティ英語 2 メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語アドバンスト・コミュニケーション 1 英語アドバンスト・コミュニケーション 2 英語コミュニケーション 1 英語コミュニケーション 2 国際学への招待 ※ 大阪観光学 ※
専	准教授	ハセガワ アキヒコ 長谷川 明彦 (48) <令和6年4月> 博士（公共政策学）	専	准教授	ハセガワ アキヒコ 長谷川 明彦 (49) <令和6年4月> 博士（公共政策学）	専	准教授	ハセガワ アキヒコ 長谷川 明彦 (50) <令和6年4月> 博士（公共政策学）	専	准教授	ハセガワ アキヒコ 長谷川 明彦 (51) <令和6年4月> 博士（公共政策学）
		アーバンツーリズム論 演習導入 ※ 観光政策論 観光調査法 基礎演習 国際学への招待 ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 地域データ分析			アーバンツーリズム論 演習導入 ※ 観光政策論 観光調査法 基礎演習 国際学への招待 ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 地域データ分析			アーバンツーリズム論 演習導入 ※ 観光政策論 観光調査法 基礎演習 国際学への招待 ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 地域データ分析			アーバンツーリズム論 演習導入 ※ 観光政策論 観光調査法 基礎演習 国際学への招待 ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 地域データ分析
専	准教授	ヤマグチ アキフミ 山口 哲史 (40) <令和6年4月> 博士（文学）	専	准教授	ヤマグチ アキフミ 山口 哲史 (41) <令和6年4月> 博士（文学）	専	准教授	ヤマグチ アキフミ 山口 哲史 (42) <令和6年4月> 博士（文学）	専	准教授	ヤマグチ アキフミ 山口 哲史 (43) <令和6年4月> 博士（文学）
		アジアの地域と観光 演習導入 ※ 観光歴史学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本史a 日本史b 日本史概論 2 a 日本史概論 2 b 文化交流史 1 未来と社会を学ぶ 2			アジアの地域と観光 演習導入 ※ 観光歴史学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本史a 日本史b 日本史概論 2 a 日本史概論 2 b 文化交流史 1 未来と社会を学ぶ 2 日本史概説 1			アジアの地域と観光 演習導入 ※ 観光歴史学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本史a 日本史b 日本史概論 2 a 日本史概論 2 b 文化交流史 1 未来と社会を学ぶ 2 日本史概説 1 現代日本事情 a 現代日本事情 b			アジアの地域と観光 演習導入 ※ 観光歴史学 基礎演習 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 日本史a 日本史b 日本史概論 2 a 日本史概論 2 b 文化交流史 1 未来と社会を学ぶ 2 日本史概説 1 日本史概説 2 現代日本事情 a 現代日本事情 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	准教授	ワタナベ カズユキ 渡辺 和之 (54) <令和6年4月> 博士(文学)	専任	准教授	ワタナベ カズユキ 渡辺 和之 (55) <令和6年4月> 博士(文学)	専任	准教授	ワタナベ カズユキ 渡辺 和之 (56) <令和6年4月> 博士(文学)	専任	准教授	ワタナベ カズユキ 渡辺 和之 (57) <令和6年4月> 博士(文学)
		異文化理解入門 演習導入 ※ 観光と芸術 基礎演習 現代日本事情a ※ 現代日本事情b ※ 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 b ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 比較文化論			異文化理解入門 演習導入 ※ 観光と芸術 基礎演習 現代日本事情a ※ 現代日本事情b ※ 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 b ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 比較文化論			異文化理解入門 演習導入 ※ 観光と芸術 基礎演習 現代日本事情a ※ 現代日本事情b ※ 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 b ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 比較文化論			異文化理解入門 演習導入 ※ 観光と芸術 基礎演習 現代日本事情a ※ 現代日本事情b ※ 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 b ※ 専門演習 1a 専門演習 1b 専門演習 2a 専門演習 2b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 比較文化論
		アカイ ヨシユキ 赤井 良行 (52) <令和6年4月> 博士(感性科学)			アカイ ヨシユキ 赤井 良行 (53) <令和6年4月> 博士(感性科学)			アカイ ヨシユキ 赤井 良行 (54) <令和6年4月> 博士(感性科学)			アカイ ヨシユキ 赤井 良行 (55) <令和6年4月> 博士(感性科学)
		インターンシップ講座			インターンシップ講座			インターンシップ講座			インターンシップ講座
		アンジョウ ヒサコ 安城(畠山) 寿子 (45) <令和6年4月> 博士(学術)			アンジョウ ヒサコ 安城(畠山) 寿子 (46) <令和6年4月> 博士(学術)			アンジョウ ヒサコ 安城(畠山) 寿子 (47) <令和6年4月> 博士(学術)			アンジョウ ヒサコ 安城(畠山) 寿子 (48) <令和6年4月> 博士(学術)
		教養西洋史 教養日本史			教養西洋史 教養日本史			教養西洋史 教養日本史			教養西洋史 教養日本史
		イケダ ユウジ 池田 雄二 (43) <令和6年4月> 修士(法学)			イケダ ユウジ 池田 雄二 (44) <令和6年4月> 修士(法学)			イケダ ユウジ 池田 雄二 (45) <令和6年4月> 修士(法学)			イケダ ユウジ 池田 雄二 (46) <令和6年4月> 修士(法学)
		現代日本事情a ※ 法学a 法学b 法学概論 1 法学概論 2			現代日本事情a ※ 法学a 法学b 法学概論 1 法学概論 2			現代日本事情a-※ 法学a 法学b 法学概論 1 法学概論 2			現代日本事情a-※ 法学a 法学b 法学概論 1 法学概論 2
		イノウエ ユウジ 井上 裕司 (50) <令和6年4月> 博士(法学)			イノウエ ユウジ 井上 裕司 (51) <令和6年4月> 博士(法学)			イノウエ ユウジ 井上 裕司 (52) <令和6年4月> 博士(法学)			イノウエ ユウジ 井上 裕司 (53) <令和6年4月> 博士(法学)
		グローバル・ガバナンス論 教養政治学 国際学への招待 ※ 国際政治経済論			グローバル・ガバナンス論 教養政治学 国際学への招待 ※ 国際政治経済論			グローバル・ガバナンス論 教養政治学 国際学への招待 ※ 国際政治経済論			グローバル・ガバナンス論 教養政治学 国際学への招待 ※ 国際政治経済論
兼任	教授	オオノ シゲル 大野 茂 (58) <令和7年4月> 経済学士	兼任	教授	オオノ シゲル 大野 茂 (59) <令和7年4月> 経済学士	兼任	教授	オオノ シゲル 大野 茂 (60) <令和7年4月> 経済学士	兼任	教授	オオノ シゲル 大野 茂 (61) <令和7年4月> 経済学士
		音楽産業論 社会人としての教養講座 a ※			音楽産業論 社会人としての教養講座 a ※			音楽産業論 社会人としての教養講座 a-※			音楽産業論 社会人としての教養講座 a-※
		オカジマ ヨシトモ 岡島 慶知 (53) <令和7年4月> 博士(経済学)			オカジマ ヨシトモ 岡島 慶知 (54) <令和7年4月> 博士(経済学)			オカジマ ヨシトモ 岡島 慶知 (55) <令和7年4月> 博士(経済学)			オカジマ ヨシトモ 岡島 慶知 (56) <令和7年4月> 博士(経済学)
		国際経済学			国際経済学			国際経済学			国際経済学
		オカネ ヨシヒコ 岡根 好彦 (38) <令和6年4月> 修士(法学)			オカネ ヨシヒコ 岡根 好彦 (39) <令和6年4月> 修士(法学)			オカネ ヨシヒコ 岡根 好彦 (40) <令和6年4月> 修士(法学)			オカネ ヨシヒコ 岡根 好彦 (41) <令和6年4月> 修士(法学)
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
		オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (49) <令和6年4月> 博士(英語学)			オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (50) <令和6年4月> 博士(英語学)			オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (51) <令和6年4月> 博士(英語学)			オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (52) <令和6年4月> 博士(英語学)
		国際学への招待 ※ 資格ビジネス英語 1 資格ビジネス英語 2			国際学への招待 ※ 資格ビジネス英語 1 資格ビジネス英語 2			国際学への招待 ※ 資格ビジネス英語 1 資格ビジネス英語 2			国際学への招待 ※ 資格ビジネス英語 1 資格ビジネス英語 2
										兼任	カガワ マリ 加川 真理 (61) <令和8年4月> 博士(法学)
											国際学への招待 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	カミオ トキコ 神尾 登喜子 (60) ＜令和6年4月＞ 博士(国文学)	兼任	教授	カミオ トキコ 神尾 登喜子 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(国文学)	兼任	教授	カミオ トキコ 神尾 登喜子 (62) ＜令和6年4月＞ 博士(国文学)	兼任	教授	カミオ トキコ 神尾 登喜子 (63) ＜令和6年4月＞ 博士(国文学)
		国際学への招待 ※			国際学への招待 ※			国際学への招待 ※			国際学への招待 ※
兼任	教授	キタガワ エツジ 北川 悦司 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)	兼任	教授	キタガワ エツジ 北川 悦司 (46) ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)	兼任	教授	キタガワ エツジ 北川 悦司 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)	兼任	教授	キタガワ エツジ 北川 悦司 (48) ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		情報処理応用 情報処理入門			情報処理応用 情報処理入門			情報処理応用 情報処理入門			情報処理応用 情報処理入門
兼任	教授	クオン ヒトミ 権 瞳 (55) ＜令和6年4月＞ 修士(アメリカ研究)	兼任	教授	クオン ヒトミ 権 瞳 (56) ＜令和6年4月＞ 修士(アメリカ研究)	兼任	教授	クオン ヒトミ 権 瞳 (57) ＜令和6年4月＞ 修士(アメリカ研究)	兼任	教授	クオン ヒトミ 権 瞳 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(アメリカ研究)
		キャンピングアテンドプログラム1 キャンピングアテンドプログラム2 キャンピングアテンドプログラム3 キャンピングアテンドプログラム4 キャンピングアテンドプログラム5 国際学への招待 ※			キャンピングアテンドプログラム1 キャンピングアテンドプログラム2 キャンピングアテンドプログラム3 キャンピングアテンドプログラム4 キャンピングアテンドプログラム5 国際学への招待 ※			キャンピングアテンドプログラム1 キャンピングアテンドプログラム2 キャンピングアテンドプログラム3 キャンピングアテンドプログラム4 キャンピングアテンドプログラム5 国際学への招待 ※			キャンピングアテンドプログラム1 キャンピングアテンドプログラム2 キャンピングアテンドプログラム3 キャンピングアテンドプログラム4 キャンピングアテンドプログラム5 国際学への招待 ※
兼任	教授	サキハマ ヒデユキ 崎濱 秀行 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(教育心理学)	兼任	教授	サキハマ ヒデユキ 崎濱 秀行 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(教育心理学)	兼任	教授	サキハマ ヒデユキ 崎濱 秀行 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(教育心理学)	兼任	教授	サキハマ ヒデユキ 崎濱 秀行 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(教育心理学)
		心理学a 心理学b			心理学a 心理学b			心理学a 心理学b			心理学a 心理学b
兼任	教授	サナダ ケイコ 真田(加藤) 桂子 (62) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	サナダ ケイコ 真田(加藤) 桂子 (63) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	サナダ ケイコ 真田(加藤) 桂子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	サナダ ケイコ 真田(加藤) 桂子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		フランス語1 フランス語2 フランス語3 フランス語4 フランス語5 フランス語6 フランス語圏研究a フランス語圏研究b 教養演習1a 教養演習1b			フランス語1 フランス語2 フランス語3 フランス語4 フランス語5 フランス語6 フランス語圏研究a フランス語圏研究b 教養演習1a 教養演習1b			フランス語1 フランス語2 フランス語3 フランス語4 フランス語5 フランス語6 フランス語圏研究a フランス語圏研究b 教養演習1a 教養演習1b			フランス語1 フランス語2 フランス語3 フランス語4 フランス語5 フランス語6 フランス語圏研究a フランス語圏研究b 教養演習1a 教養演習1b 社会人としての教養講座 a 社会人としての教養講座 b
兼任	教授	シーハン マーク ダニエル Mark Daniel Sheehan (54) ＜令和7年4月＞ Master of Arts in English Literature	兼任	教授	シーハン マーク ダニエル Mark Daniel Sheehan (55) ＜令和7年4月＞ Master of Arts in English Literature (アメリカ)	兼任	教授	シーハン マーク ダニエル Mark Daniel Sheehan (56) ＜令和7年4月＞ Master of Arts in English Literature (アメリカ)	兼任	教授	シーハン マーク ダニエル Mark Daniel Sheehan (57) ＜令和7年4月＞ Master of Arts in English Literature (アメリカ)
		Debate and Discussion Topic Studies			Debate and Discussion Topic Studies			Debate and Discussion Topic Studies			Debate and Discussion Topic Studies Business English
兼任	教授	シライシ ハルエ 白石 治恵 (54) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	シライシ ハルエ 白石 治恵 (55) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	シライシ ハルエ 白石 治恵 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	シライシ ハルエ 白石 治恵 (57) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		英語圏研究a 英語圏研究b			英語圏研究a 英語圏研究b			英語圏研究a 英語圏研究b			英語圏研究a 英語圏研究b
									兼任	教授	スエダ コウ 末田 航 (48) ＜令和8年4月＞ 博士(学術情報学) 社会人としての教養講座 a
兼任	教授	スギムラ ジュンコ 杉村(磯部) 醇子 (48) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	スギムラ ジュンコ 杉村(磯部) 醇子 (49) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	スギムラ ジュンコ 杉村(磯部) 醇子 (50) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	スギムラ ジュンコ 杉村(磯部) 醇子 (51) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		Advanced English Reading 3 Advanced English Reading 4			Advanced English Reading 3 Advanced English Reading 4			Advanced English Reading 3 Advanced English Reading 4			Advanced English Reading 3 Advanced English Reading 4
兼任	教授	タカハシ シンジ 高橋 慎二 (48) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)	兼任	教授	タカハシ シンジ 高橋 慎二 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)	兼任	教授	タカハシ シンジ 高橋 慎二 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)	兼任	教授	タカハシ シンジ 高橋 慎二 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※
兼任	教授	チョ ミギョン 曹 美庚 (55) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	教授	チョ ミギョン 曹 美庚 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	教授	チョ ミギョン 曹 美庚 (57) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	教授	チョ ミギョン 曹 美庚 (58) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)
		ポスト留学韓国語			ポスト留学韓国語			ポスト留学韓国語			ポスト留学韓国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	チン リキ 陳 力(関中 問史) (56) <令和7年4月> 博士(文学)	ポスト留学中国語 中国語で日本案内
兼任	教授	ツボイ ヒヨウスケ 坪井 兵輔 (51) <令和6年4月> 学士(経済学)	グローバル・イシュー マスメディア論a マスメディア論b 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ナガタ タクジ 永田 拓治 (45) <令和6年4月> 博士(文学)	ネットビジネス中国語 教養東洋史 台湾華語
兼任	教授	ニシ ヒロシ 西 洋 (43) <令和6年4月> 博士(経済学)	マクロ経済学 現代日本事情b ※ 日本経済論 1 日本経済論 2
兼任	教授	ハシモト エイジ 橋本 英司 (60) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching English as a Second Language(アメリカ)	英語圏留学入門 国際学への招待 ※
兼任	教授	ハナカワ ノリコ 花川 典子 (61) <令和7年4月> 博士(工学)	社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ハマ ミチオ 濱 道生 (65) <令和6年4月> 工学博士	自然科学史a 自然科学史b 物理学a 物理学b
兼任	教授	ホリウチ シロウ 堀内 史朗 (47) <令和6年4月> 博士(理学)	移動の社会学 現代日本事情a ※
兼任	教授	マエダ トシユキ 前田 利之 (61) <令和6年4月> 博士(理学)	AI・データサイエンス入門 1 AI・データサイエンス入門 2 AIデータサイエンス総論 スタディスキルズa スタディスキルズb 社会人としての教養講座 a ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	チン リキ 陳 力(関中 問史) (57) <令和7年4月> 博士(文学)	ポスト留学中国語 中国語で日本案内
兼任	教授	ツボイ ヒヨウスケ 坪井 兵輔 (52) <令和6年4月> 学士(経済学)	グローバル・イシュー マスメディア論a マスメディア論b 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ナガタ タクジ 永田 拓治 (46) <令和6年4月> 博士(文学)	ネットビジネス中国語 文化交流史 1 教養東洋史 台湾華語
兼任	教授	ニシ ヒロシ 西 洋 (44) <令和6年4月> 博士(経済学)	マクロ経済学 現代日本事情b ※ 日本経済論 1 日本経済論 2
兼任	教授	ハシモト エイジ 橋本 英司 (61) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching English as a Second Language(アメリカ)	英語圏留学入門 国際学への招待 ※
兼任	教授	ハナカワ ノリコ 花川 典子 (62) <令和7年4月> 博士(工学)	社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ハマ ミチオ 濱 道生 (66) <令和6年4月> 工学博士	自然科学史a 自然科学史b 物理学a 物理学b
兼任	教授	ホリウチ シロウ 堀内 史朗 (48) <令和6年4月> 博士(理学)	移動の社会学 現代日本事情a ※
兼任	教授	マエダ トシユキ 前田 利之 (62) <令和6年4月> 博士(理学)	AI・データサイエンス入門 1 AI・データサイエンス入門 2 AIデータサイエンス総論 スタディスキルズa スタディスキルズb 社会人としての教養講座 a ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	チン リキ 陳 力(関中 問史) (58) <令和7年4月> 博士(文学)	ポスト留学中国語 中国語で日本案内
兼任	教授	ツボイ ヒヨウスケ 坪井 兵輔 (53) <令和6年4月> 学士(経済学)	グローバル・イシュー マスメディア論a マスメディア論b 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ナガタ タクジ 永田 拓治 (47) <令和6年4月> 博士(文学)	ネットビジネス中国語 文化交流史 1 教養東洋史 台湾華語
兼任	教授	ハシモト エイジ 橋本 英司 (62) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching English as a Second Language(アメリカ)	英語圏留学入門 国際学への招待 ※
兼任	教授	ハナカワ ノリコ 花川 典子 (63) <令和7年4月> 博士(工学)	社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ハマ ミチオ 濱 道生 (66) <令和6年4月> 工学博士	自然科学史a 自然科学史b 物理学a 物理学b
兼任	教授	ホリウチ シロウ 堀内 史朗 (49) <令和6年4月> 博士(理学)	移動の社会学 現代日本事情a ※
兼任	教授	マエダ トシユキ 前田 利之 (63) <令和6年4月> 博士(理学)	AI・データサイエンス入門 1 AI・データサイエンス入門 2 AIデータサイエンス総論 スタディスキルズa スタディスキルズb 社会人としての教養講座 a ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	チン リキ 陳 力(関中 問史) (59) <令和7年4月> 博士(文学)	ポスト留学中国語 中国語で日本案内
兼任	教授	ツボイ ヒヨウスケ 坪井 兵輔 (54) <令和6年4月> 学士(経済学)	グローバル・イシュー マスメディア論a マスメディア論b 国際学への招待 ※ 社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ナガタ タクジ 永田 拓治 (48) <令和6年4月> 博士(文学)	ネットビジネス中国語 文化交流史 1 教養東洋史 台湾華語
兼任	教授	ハシモト エイジ 橋本 英司 (63) <令和6年4月> Master of Arts in Teaching English as a Second Language(アメリカ)	英語圏留学入門 国際学への招待 ※
兼任	教授	ハナカワ ノリコ 花川 典子 (64) <令和7年4月> 博士(工学)	社会人としての教養講座 a ※
兼任	教授	ハマ ミチオ 濱 道生 (66) <令和6年4月> 工学博士	自然科学史a 自然科学史b 物理学a 物理学b
兼任	教授	ホリウチ シロウ 堀内 史朗 (50) <令和6年4月> 博士(理学)	移動の社会学 現代日本事情a ※ 卒業研究
兼任	教授	マエダ トシユキ 前田 利之 (63) <令和6年4月> 博士(理学)	AI・データサイエンス入門 1 AI・データサイエンス入門 2 AIデータサイエンス総論 スタディスキルズa スタディスキルズb 社会人としての教養講座 a ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	マツダ タケシ 松田 (勝又) 健 (43) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	マツダ タケシ 松田 (勝又) 健 (44) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	マツダ タケシ 松田 (勝又) 健 (45) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	マツダ タケシ 松田 (勝又) 健 (46) <令和6年4月> 博士(理学)
		教養数学 社会人としての教養講座 b ※ 数学a 数学b			教養数学 社会人としての教養講座 b ※ 数学a 数学b			教養数学 社会人としての教養講座 b 数学a 数学b 社会人としての教養講座 a 教養演習 2 a AI・データサイエンス総論			教養数学 社会人としての教養講座 b 数学a 数学b 社会人としての教養講座 a 教養演習 2 a AI・データサイエンス総論
兼任	准教授	マツムラ コウシロウ 松村 幸四郎 (47) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	教授	マツムラ コウシロウ 松村 幸四郎 (48) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	教授	マツムラ コウシロウ 松村 幸四郎 (49) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	教授	マツムラ コウシロウ 松村 幸四郎 (50) <令和6年4月> 修士(法学)
		教養演習1a 教養演習1b 教養演習2a 教養演習2b			教養演習1a 教養演習1b 教養演習2a 教養演習2b			教養演習1a 教養演習1b 教養演習2a 教養演習2b			教養演習1a 教養演習1b 教養演習2a 教養演習2b
兼任	教授	ミキ タカヒロ 三木 隆弘 (57) <令和7年4月> 法学士	兼任	教授	ミキ タカヒロ 三木 隆弘 (58) <令和7年4月> 法学士	兼任	教授	ミキ タカヒロ 三木 隆弘 (59) <令和7年4月> 法学士	兼任	教授	ミキ タカヒロ 三木 隆弘 (60) <令和7年4月> 法学士
		インターンシップ講座			インターンシップ講座			インターンシップ講座			インターンシップ講座
兼任	教授	ミヨシ テツヤ 三好 哲也 (60) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	教授	ミヨシ テツヤ 三好 哲也 (61) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	教授	ミヨシ テツヤ 三好 哲也 (62) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	教授	ミヨシ テツヤ 三好 哲也 (63) <令和6年4月> 博士(工学)
		現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※
兼任	准教授	ムトウ マミ 武藤 麻美 (41) <令和6年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	ムトウ マミ 武藤 麻美 (42) <令和6年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	ムトウ マミ 武藤 麻美 (43) <令和6年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	ムトウ マミ 武藤 麻美 (44) <令和6年4月> 博士(人間科学)
		観光とホスピタリティの心理学 国際学への招待 ※ 対人コミュニケーション心理学			観光とホスピタリティの心理学 国際学への招待 ※ 対人コミュニケーション心理学			観光とホスピタリティの心理学 国際学への招待 ※ 対人コミュニケーション心理学			観光とホスピタリティの心理学 国際学への招待 ※ 対人コミュニケーション心理学
兼任	教授	ムラカミ マサトシ 村上 雅俊 (48) <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	ムラカミ マサトシ 村上 雅俊 (49) <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	ムラカミ マサトシ 村上 雅俊 (50) <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	ムラカミ マサトシ 村上 雅俊 (51) <令和6年4月> 博士(経済学)
		教養統計学 現代日本事情a ※ 社会人としての教養講座 a ※ 統計学a 統計学b			教養統計学 現代日本事情a ※ 社会人としての教養講座 a ※ 統計学a 統計学b			教養統計学 現代日本事情a ※ 社会人としての教養講座 a ※ 統計学a 統計学b			教養統計学 現代日本事情a ※ 社会人としての教養講座 a ※ 統計学a 統計学b 現代日本事情 b ※
兼任	教授	モリ ヨシチカ 森 芳周 (47) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	教授	モリ ヨシチカ 森 芳周 (48) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	教授	モリ ヨシチカ 森 芳周 (49) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	教授	モリ ヨシチカ 森 芳周 (50) <令和6年4月> 博士(文学)
		教養哲学 教養倫理学 社会人としての教養講座 b ※ 倫理学a 倫理学b 倫理学概論 a 倫理学概論 b 論理学a 論理学b			教養哲学 教養倫理学 社会人としての教養講座 b ※ 倫理学a 倫理学b 倫理学概論 a 倫理学概論 b 論理学a 論理学b			教養哲学 教養倫理学 社会人としての教養講座 b ※ 倫理学a 倫理学b 倫理学概論 a 倫理学概論 b 論理学a 論理学b			教養哲学 教養倫理学 社会人としての教養講座 b ※ 倫理学a 倫理学b 倫理学概論 a 倫理学概論 b 論理学a 論理学b
									兼任	教授	ヤグラ ケンジロウ 矢倉 研二郎 (55) <令和8年4月> 博士(農学) 社会人としての教養講座 a
兼任	教授	ヤマウチ タカユキ 山内 孝幸 (60) <令和6年4月> 博士(商学)	兼任	教授	ヤマウチ タカユキ 山内 孝幸 (61) <令和6年4月> 博士(商学)	兼任	教授	ヤマウチ タカユキ 山内 孝幸 (62) <令和6年4月> 博士(商学)	兼任	教授	ヤマウチ タカユキ 山内 孝幸 (63) <令和6年4月> 博士(商学)
		現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※
兼任	教授	ユウオカ タケシ 祐岡 武志 (55) <令和6年4月> 博士(学校教育)	兼任	教授	ユウオカ タケシ 祐岡 武志 (56) <令和6年4月> 博士(学校教育)	兼任	教授	ユウオカ タケシ 祐岡 武志 (57) <令和6年4月> 博士(学校教育)	兼任	教授	ユウオカ タケシ 祐岡 武志 (58) <令和6年4月> 博士(学校教育)
		教育学a 教育学b			教育学a 教育学b			教育学a 教育学b			教育学a 教育学b
									兼任	准教授	イワサキ リョウ 岩崎 領 (32) <令和8年4月> 修士(教育学) スポーツ技術 a スポーツ技術 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	ウエアカサカ ヨシタカ 上赤坂 佳孝 (43) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	准教授	ウエアカサカ ヨシタカ 上赤坂 佳孝 (44) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	准教授	ウエアカサカ ヨシタカ 上赤坂 佳孝 (45) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	准教授	ウエアカサカ ヨシタカ 上赤坂 佳孝 (46) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学論a スポーツ科学論b			スポーツ科学論a スポーツ科学論b			スポーツ科学論a スポーツ科学論b			スポーツ科学論a スポーツ科学論b 教養演習 1 b
兼任	准教授	ウダガワ ダイスケ 宇田川 大輔 (45) <令和7年4月> 修士(経済学)	兼任	准教授	ウダガワ ダイスケ 宇田川 大輔 (46) <令和7年4月> 修士(経済学)	兼任	准教授	ウダガワ ダイスケ 宇田川 大輔 (47) <令和7年4月> 修士(経済学)	兼任	准教授	ウダガワ ダイスケ 宇田川 大輔 (48) <令和7年4月> 修士(経済学)
		ミクロ経済学			ミクロ経済学			ミクロ経済学			ミクロ経済学
専	准教授	シゲタニ ヨウイチ 重谷 陽一 (52) <令和6年4月> 博士(先端マネジメント)	専	准教授	シゲタニ ヨウイチ 重谷 陽一 (53) <令和6年4月> 博士(先端マネジメント)	専	准教授	シゲタニ ヨウイチ 重谷 陽一 (54) <令和6年4月> 博士(先端マネジメント)	専	准教授	
		演習導入 ※ 観光事業論 基礎演習 航空産業論 専門演習 1 a 専門演習 1 b 専門演習 2 a 専門演習 2 b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			演習導入 ※ 観光事業論 基礎演習 航空産業論 専門演習 1 a 専門演習 1 b 専門演習 2 a 専門演習 2 b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※			演習導入 ※ 観光事業論 基礎演習 航空産業論 専門演習 1 a 専門演習 1 b 専門演習 2 a 専門演習 2 b 卒業研究 大学入門ゼミ a 大学入門ゼミ b 大阪観光学 ※ 国際観光学特別講義 1			
兼任	准教授	シバタ セイギ 柴田 正義 (31) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	シバタ セイギ 柴田 正義 (32) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	シバタ セイギ 柴田 正義 (33) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	シバタ セイギ 柴田 正義 (34) <令和6年4月> 修士(法学)
		宗教と社会 多文化社会論 文化交流史 2			宗教と社会 多文化社会論 文化交流史 2 現代日本事情 b			宗教と社会 多文化社会論 文化交流史 2 現代日本事情 b			宗教と社会 多文化社会論 文化交流史 2 現代日本事情 b 社会人としての教養講座 b
兼任	准教授	シシタニ マサミ 新谷 雅美 (54) <令和6年4月> 学士(経営学)	兼任	准教授	シシタニ マサミ 新谷 雅美 (55) <令和6年4月> 学士(経営学)	兼任	准教授	シシタニ マサミ 新谷 雅美 (56) <令和6年4月> 学士(経営学)	兼任	准教授	シシタニ マサミ 新谷 雅美 (57) <令和6年4月> 学士(経営学)
		現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※			現代日本事情b ※ 現代日本事情 a
兼任	准教授	スギモト マサシ 杉本 匡史 (38) <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	スギモト マサシ 杉本 匡史 (39) <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	スギモト マサシ 杉本 匡史 (40) <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	
		消費者の心理			消費者の心理			消費者の心理			
兼任	准教授	フクワカ マサト 福若 真人 (37) <令和6年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	フクワカ マサト 福若 真人 (38) <令和6年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	フクワカ マサト 福若 真人 (39) <令和6年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	フクワカ マサト 福若 真人 (40) <令和6年4月> 博士(教育学)
		教職入門 哲学a 哲学b 哲学概論a 哲学概論b			教職入門 哲学a 哲学b 哲学概論a 哲学概論b			教職入門 哲学a 哲学b 哲学概論a 哲学概論b			教職入門 哲学a 哲学b 哲学概論a 哲学概論b 教育社会学
兼任	准教授	ホソカワ ヒロフミ 細川 裕史 (44) <令和6年4月> Doktor der Philosophie (ドイツ)	兼任	准教授	ホソカワ ヒロフミ 細川 裕史 (45) <令和6年4月> Doktor der Philosophie (ドイツ)	兼任	准教授	ホソカワ ヒロフミ 細川 裕史 (46) <令和6年4月> Doktor der Philosophie (ドイツ)	兼任	准教授	ホソカワ ヒロフミ 細川 裕史 (47) <令和6年4月> Doktor der Philosophie (ドイツ)
		ドイツ語 1 ドイツ語 2 ドイツ語 3 ドイツ語 4 ドイツ語 5 ドイツ語 6 ドイツ語圏研究a ドイツ語圏研究b 現代日本事情b ※			ドイツ語 1 ドイツ語 2 ドイツ語 3 ドイツ語 4 ドイツ語 5 ドイツ語 6 ドイツ語圏研究a ドイツ語圏研究b 現代日本事情b ※			ドイツ語 1 ドイツ語 2 ドイツ語 3 ドイツ語 4 ドイツ語 5 ドイツ語 6 ドイツ語圏研究a ドイツ語圏研究b 現代日本事情b ※			ドイツ語 1 ドイツ語 2 ドイツ語 3 ドイツ語 4 ドイツ語 5 ドイツ語 6 ドイツ語圏研究a ドイツ語圏研究b 現代日本事情b ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ミツヤス チカコ 光安 知佳子 (36) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	講師	ミツヤス チカコ 光安 知佳子 (37) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	講師	ミツヤス チカコ 光安 知佳子 (36) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)	兼任	講師	ミツヤス チカコ 光安 知佳子 (39) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b 健康科学論a 健康科学論b			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b 健康科学論a 健康科学論b			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b 健康科学論a 健康科学論b			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b 健康科学論a 健康科学論b
兼任	講師	アイハラ ススム 相原 進 (47) <令和7年4月> 博士(地域研究)	兼任	講師	アイハラ ススム 相原 進 (48) <令和7年4月> 博士(地域研究)	兼任	講師	アイハラ ススム 相原 進 (49) <令和7年4月> 博士(地域研究)			
		アフリカの地域と観光			アフリカの地域と観光			アフリカの地域と観光			
			兼任	講師	アキヤマ ミキ 秋山 みき (25) <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	アキヤマ ミキ 秋山 みき (26) <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	アキヤマ ミキ 秋山 みき (27) <令和6年4月> 修士(人間科学)
					ボランティア実践 a ボランティア実践 b			ボランティア実践 a ボランティア実践 b			ボランティア実践 a ボランティア実践 b
兼任	講師	アダチ テルヤ 足立 照也 (71) <令和7年4月> 文学修士	兼任	講師	アダチ テルヤ 足立 照也 (72) <令和7年4月> 文学修士	兼任	講師	アダチ テルヤ 足立 照也 (73) <令和7年4月> 文学修士	兼任	講師	アダチ テルヤ 足立 照也 (74) <令和7年4月> 文学修士
		オセアニアの地域と観光 レジャー文化論 国際観光学特別講義Ⅰ			オセアニアの地域と観光 レジャー文化論 国際観光学特別講義Ⅰ			オセアニアの地域と観光 レジャー文化論 国際観光学特別講義Ⅰ			オセアニアの地域と観光 レジャー文化論 国際観光学特別講義Ⅰ
兼任	講師	イエキ ノブヒロ 家木 宣宏 (36) <令和6年4月> 修士(理学)	兼任	講師	イエキ ノブヒロ 家木 宣宏 (37) <令和6年4月> 修士(理学)	兼任	講師	イエキ ノブヒロ 家木 宣宏 (38) <令和6年4月> 修士(理学)	兼任	講師	イエキ ノブヒロ 家木 宣宏 (39) <令和6年4月> 修士(理学)
		化学a 化学b			化学a 化学b			化学a 化学b			化学a 化学b
			兼任	講師	イシイ ユウジ 石井 雄二 (68) <令和6年4月> 経済学修士	兼任	講師	イシイ ユウジ 石井 雄二 (69) <令和6年4月> 経済学修士	兼任	講師	イシイ ユウジ 石井 雄二 (70) <令和6年4月> 経済学修士
					現代地理学 a 現代地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b			現代地理学 a 現代地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b			現代地理学 a 現代地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b
			兼任	講師	イ チンソン 李 眞善 (27) <令和6年4月> 修士(言語文化学)						
					Kpopとドラマで学ぶ韓国語						
兼任	講師	イ ヒヨンスク 李 鉉淑 (44) <令和6年4月> 修士(言語教育情報)	兼任	講師	イ ヒヨンスク 李 鉉淑 (45) <令和7年4月> 修士(言語教育情報)	兼任	講師	イ ヒヨンスク 李 鉉淑 (46) <令和6年4月> 修士(言語教育情報)			
		Kpopとドラマで学ぶ韓国語			Kpopとドラマで学ぶ韓国語			Kpopとドラマで学ぶ韓国語			
									兼任	講師	ウ ソヨン 禹 昭嬪 (47) <令和6年4月> 修士(日本語学)
											韓国語コミュニケーション 3 韓国語ビジネス 1 韓国語ビジネス 2 Kpopとドラマで学ぶ韓国語
兼任	講師	ウツミ ヤスコ 内海(河村) 翠子 (47) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	ウツミ ヤスコ 内海(河村) 翠子 (48) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	ウツミ ヤスコ 内海(河村) 翠子 (49) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	ウツミ ヤスコ 内海(河村) 翠子 (50) <令和7年4月> 博士(文学)
		日本文化史 a 日本文化史 b			日本文化史 a 日本文化史 b			日本文化史 a 日本文化史 b			日本文化史 a 日本文化史 b
兼任	講師	ウルシハラ マコト 漆原 誠 (45) <令和6年4月> 専門学校卒	兼任	講師	ウルシハラ マコト 漆原 誠 (46) <令和6年4月> 専門学校卒						
		スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ技術a スポーツ技術b						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	エグチ ヒロシ 江口 寛 (66) <令和7年4月> 修士(都市政策学)	兼任	講師	エグチ ヒロシ 江口 寛 (67) <令和7年4月> 修士(都市政策学)	兼任	講師	エグチ ヒロシ 江口 寛 (68) <令和7年4月> 修士(都市政策学)	兼任	講師	エグチ ヒロシ 江口 寛 (69) <令和7年4月> 修士(都市政策学)
		生涯学習概論			生涯学習概論			生涯学習概論			生涯学習概論
兼任	講師	オオエ マリコ 大江 麻里子 (56) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	オオエ マリコ 大江 麻里子 (56) <令和6年4月> 博士(文学)						
		英語圏研究a 英語圏研究b			英語圏研究a 英語圏研究b						
兼任	講師	オオサワ ナオト 大澤 直人 (41) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	オオサワ ナオト 大澤 直人 (42) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	オオサワ ナオト 大澤 直人 (43) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	オオサワ ナオト 大澤 直人 (44) <令和6年4月> 博士(文学)
		東洋史a 東洋史b			東洋史a 東洋史b			東洋史a 東洋史b			東洋史a 東洋史b
									兼任	講師	オオツカ マサヒロ 大塚 正博 (65) <令和8年4月> 観光資源解説方法論
											オカダ ヤスイテロウ 岡田 和一郎 (48) 中国語で日本案内 ポスト留学中国語
兼任	講師	オガワ マサミ 小川 雅美 (59) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	オガワ マサミ 小川 雅美 (60) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	オガワ マサミ 小川 雅美 (61) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	オガワ マサミ 小川 雅美 (62) <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		スペイン語 1 スペイン語 2 スペイン語 3 スペイン語 4 スペイン語圏研究a スペイン語圏研究b			スペイン語 1 スペイン語 2 スペイン語 3 スペイン語 4 スペイン語圏研究a スペイン語圏研究b			スペイン語 1 スペイン語 2 スペイン語 3 スペイン語 4 スペイン語圏研究a スペイン語圏研究b			スペイン語 1 スペイン語 2 スペイン語 3 スペイン語 4 スペイン語圏研究a スペイン語圏研究b
兼任	講師	オクダ キヨコ 奥田 紀代子 (51) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	オクダ キヨコ 奥田 紀代子 (52) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	オクダ キヨコ 奥田 紀代子 (53) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	オクダ キヨコ 奥田 紀代子 (54) <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 3 ドイツ語 4			ドイツ語 3 ドイツ語 4			ドイツ語 3 ドイツ語 4			ドイツ語 3 ドイツ語 4
兼任	講師	カトウ リョウ 加藤 諒 (33) <令和6年4月> 博士(情報学)	兼任	講師	カトウ リョウ 加藤 諒 (34) <令和6年4月> 博士(情報学)	兼任	講師	カトウ リョウ 加藤 諒 (35) <令和6年4月> 博士(情報学)	兼任	講師	カトウ リョウ 加藤 諒 (36) <令和6年4月> 博士(情報学)
		情報科学a 情報科学b			情報科学a 情報科学b			情報科学a 情報科学b			情報科学a 情報科学b
兼任	講師	カリヤ ショウコ 假谷 梓子 (29) <令和6年4月> 修士(人文学)	兼任	講師	カリヤ ショウコ 假谷 梓子 (30) <令和6年4月> 修士(人文学)						
		ドイツ語 1 ドイツ語 2 外国文学a 外国文学b			ドイツ語 1 ドイツ語 2 外国文学a 外国文学b						
兼任	講師	カワグチ ユウコ 川口 裕子 (51) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	カワグチ ユウコ 川口 裕子 (52) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	カワグチ ユウコ 川口 裕子 (53) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	カワグチ ユウコ 川口 裕子 (54) <令和6年4月> 修士(文学)
		メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 資格ビジネス英語 3 資格ビジネス英語 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 資格ビジネス英語 3 資格ビジネス英語 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 資格ビジネス英語 3 資格ビジネス英語 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 資格ビジネス英語 3 資格ビジネス英語 4
兼任	講師	カンパナ マウリツィオ Campana Maurizio (49) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	カンパナ マウリツィオ Campana Maurizio (50) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	カンパナ マウリツィオ Campana Maurizio (51) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	カンパナ マウリツィオ Campana Maurizio (52) <令和7年4月> 博士(文学)
		世界遺産論			世界遺産論			世界遺産論			世界遺産論
									兼任	講師	キタ ツトム 喜多 努 (60) <令和8年4月> 学士(体育学) スポーツ技術 a スポーツ技術 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	キタムラ タカシ 来村 多加史 (67) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	キタムラ タカシ 来村 多加史 (68) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)						
		観光資源解説方法論 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 東洋史概論 日本史a 日本史b 日本史概論1			観光資源解説方法論 現代日本事情 a ※ 現代日本事情 b ※ 東洋史概論 日本史a 日本史b 日本史概論1						
兼任	講師	キム ジュヨン 金 ジュヨン (50) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	キム ジュヨン 金 ジュヨン (51) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	キム ジュヨン 金 ジュヨン (52) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	キム ジュヨン 金 ジュヨン (53) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語実用会話1 韓国語実用会話2			トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語実用会話1 韓国語実用会話2			トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語実用会話1 韓国語実用会話2			トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語実用会話1 韓国語実用会話2
兼任	講師	キム テフン 金 泰勲 (43) ＜令和6年4月＞ 修士(地域学)	兼任	講師	キム テフン 金 泰勲 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(地域学)	兼任	講師	キム テフン 金 泰勲 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(地域学)	兼任	講師	キム テフン 金 泰勲 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(地域学)
		地理学a 地理学b 日本地誌学 a 日本地誌学 b			地理学a 地理学b 日本地誌学 a 日本地誌学 b			地理学a 地理学b 日本地誌学 a 日本地誌学 b			地理学a 地理学b 日本地誌学 a 日本地誌学 b
兼任	講師	キム ヘンユン 金 (金山) 幸隆 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	兼任	講師	キム ヘンユン 金 (金山) 幸隆 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)						
		地球環境科学a 地球環境科学b			地球環境科学a 地球環境科学b						
兼任	講師	キム ミンジョン 金 旻貞 (43) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	キム ミンジョン 金 旻貞 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	キム ミンジョン 金 旻貞 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)			
		Kpopとドラマで学ぶ韓国語 韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語ビジネス1 韓国語ビジネス2			Kpopとドラマで学ぶ韓国語 韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語ビジネス1 韓国語ビジネス2			Kpopとドラマで学ぶ韓国語 韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語ビジネス1 韓国語ビジネス2			
兼任	講師	キョウ ギョウレイ 姜 曉麗 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	キョウ ギョウレイ 姜 曉麗 (49) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	キョウ ギョウレイ 姜 曉麗 (50) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	キョウ ギョウレイ 姜 曉麗 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語コミュニケーション4			中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語コミュニケーション4			中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語コミュニケーション4			中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語コミュニケーション4
兼任	講師	クモン ヒロコ 久門(近江岸) 宏子 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)	兼任	講師	クモン ヒロコ 久門(近江岸) 宏子 (54) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)	兼任	講師	クモン ヒロコ 久門(近江岸) 宏子 (55) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)	兼任	講師	クモン ヒロコ 久門(近江岸) 宏子 (56) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		国際社会と人間 政治学a 政治学b			国際社会と人間 政治学a 政治学b			国際社会と人間 政治学a 政治学b			国際社会と人間 政治学a 政治学b
兼任	講師	コウ リエ 高 梨恵 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(国語学)	兼任	講師	コウ リエ 高 梨恵 (56) ＜令和7年4月＞ 修士(国語学)	兼任	講師	コウ リエ 高 梨恵 (57) ＜令和7年4月＞ 修士(国語学)	兼任	講師	コウ リエ 高 梨恵 (58) ＜令和7年4月＞ 修士(国語学)
		韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語コミュニケーション3 韓国語コミュニケーション4			韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語コミュニケーション3 韓国語コミュニケーション4			韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語コミュニケーション3 韓国語コミュニケーション4			韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語コミュニケーション3 韓国語コミュニケーション4
兼任	講師	コデラ マサヒロ 小寺 正洋 (66) ＜令和7年4月＞ 修士(英語・応用言語学)	兼任	講師	コデラ マサヒロ 小寺 正洋 (67) ＜令和7年4月＞ 修士(英語・応用言語学)	兼任	講師	コデラ マサヒロ 小寺 正洋 (68) ＜令和7年4月＞ 修士(英語・応用言語学)	兼任	講師	コデラ マサヒロ 小寺 正洋 (69) ＜令和7年4月＞ 修士(英語・応用言語学)
		ドラマで学ぶ英語 通訳入門 翻訳入門			ドラマで学ぶ英語 通訳入門 翻訳入門			ドラマで学ぶ英語 通訳入門 翻訳入門			資格ビジネス英語2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	コバヤシ コウジ 小林 弘二 (67) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）	兼任	講師	コバヤシ コウジ 小林 弘二 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）	兼任	講師	コバヤシ コウジ 小林 弘二 (69) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）	兼任	講師	コバヤシ コウジ 小林 弘二 (70) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）
		国際観光学特別講義 2			国際観光学特別講義 2			国際観光学特別講義 2			国際観光学特別講義 2
									兼任	講師	コマツ ノリコ 小松 紀子 (57) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
									兼任	講師	ドイツ語 1 ドイツ語 2 外国文学 a 外国文学 b
									兼任	講師	サイトウ マサミ 齋藤 正己 (66) ＜令和8年4月＞ 公共政策学博士
											観光調査法 観光政策論
									兼任	講師	サカイ シゲコ 酒井 滋子 (61) ＜令和8年4月＞ 修士（社会福祉学）
									兼任	講師	ビジネス日本語基礎 a ビジネス日本語基礎 b 日本語レポート 2 a 日本語レポート 2 b 日本語レポート 3 a 日本語レポート 3 b 日本語聴解発話 1 a 日本語聴解発話 1 b 日本語読解 1 a 日本語読解 1 b
兼任	講師	サカイ ヤスヒロ 坂井 康広 (50) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	サカイ ヤスヒロ 坂井 康広 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	サカイ ヤスヒロ 坂井 康広 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	サカイ ヤスヒロ 坂井 康広 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		現代地理学 a 現代地理学 b 地理学 a 地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b			現代地理学 a 現代地理学 b 地理学 a 地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b			現代地理学 a 現代地理学 b 地理学 a 地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b			現代地理学 a 現代地理学 b 地理学 a 地理学 b 文化地理学 a 文化地理学 b
兼任	講師	サカウエ カヨコ 坂上 加余子 (64) ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	サカウエ カヨコ 坂上 加余子 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	サカウエ カヨコ 坂上 加余子 (66) ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	サカウエ カヨコ 坂上 加余子 (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4
兼任	講師	サカグチ サユリ 阪口 さゆり (57) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	サカグチ サユリ 阪口 さゆり (58) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	サカグチ サユリ 阪口 さゆり (59) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	サカグチ サユリ 阪口 さゆり (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語圏研究 a 英語圏研究 b			英語圏研究 a 英語圏研究 b			英語圏研究 a 英語圏研究 b			英語圏研究 a 英語圏研究 b
兼任	講師	サワサキ サトシ 澤崎 聡 (63) ＜令和6年4月＞ 芸術学士	兼任	講師	サワサキ サトシ 澤崎 聡 (64) ＜令和6年4月＞ 芸術学士	兼任	講師	サワサキ サトシ 澤崎 聡 (65) ＜令和6年4月＞ 芸術学士	兼任	講師	サワサキ サトシ 澤崎 聡 (66) ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		未来と社会を学ぶ 1			未来と社会を学ぶ 1			未来と社会を学ぶ 1			未来と社会を学ぶ 1
									兼任	講師	シカタ カガリ 四方 舞 (50) ＜令和8年4月＞ 博士（地域研究）
											アフリカの地域と観光
									兼任	講師	シゲタニ ヨウイチ 重谷 陽一 (54) ＜令和8年4月＞ 博士（先端マネジメント）
									兼任	講師	観光事業論 航空産業論 卒業研究 大阪観光学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	シモダイラ ユキオ (61) <令和7年4月> Master of Arts (TESOL) (米国)	兼任	講師	シモダイラ ユキオ (62) <令和7年4月> Master of Arts (TESOL) (米国)						
		Business English ホスピタリティ英語 1 ホスピタリティ英語 2 英語圏留学入門			Business-English ホスピタリティ英語-1 ホスピタリティ英語-2 英語圏留学入門						
兼任	講師	ショウジ ダイスケ 庄子 大亮 (48) <令和6年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	ショウジ ダイスケ 庄子 大亮 (49) <令和6年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	ショウジ ダイスケ 庄子 大亮 (50) <令和6年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	ショウジ ダイスケ 庄子 大亮 (51) <令和6年4月> 博士 (文学)
		西洋史a 西洋史b 西洋史概論 a 西洋史概論 b			西洋史a 西洋史b 西洋史概論 a 西洋史概論 b			西洋史a 西洋史b 西洋史概論 a 西洋史概論 b			西洋史a 西洋史b 西洋史概論 a 西洋史概論 b
兼任	講師	ジョウノ ユタカ 城野 豊 (50) <令和6年4月> Master of Arts in Music (米国)	兼任	講師	ジョウノ ユタカ 城野 豊 (51) <令和6年4月> Master of Arts in Music (米国)	兼任	講師	ジョウノ ユタカ 城野 豊 (52) <令和6年4月> Master of Arts in Music (米国)	兼任	講師	ジョウノ ユタカ 城野 豊 (53) <令和6年4月> Master of Arts in Music (米国)
		メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4
兼任	講師	シライシ アキラ 白石 晃 (64) <令和6年4月> 修士 (教育学)	兼任	講師	シライシ アキラ 白石 晃 (65) <令和6年4月> 修士 (教育学)				兼任	講師	ジョン ハソン 金 嘉松 (57) <令和8年4月> 修士 (学術)
		スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ技術a スポーツ技術b						韓国語コミュニケーション 4 トラベル韓国語 韓国語検定講座 a 韓国語検定講座 b
兼任	講師	スエヒロ マリコ 末廣 万里子 (40) <令和6年4月> 修士 (日本語教育学)	兼任	講師	スエヒロ マリコ 末廣 万里子 (41) <令和6年4月> 修士 (日本語教育学)	兼任	講師	スエヒロ マリコ 末廣 万里子 (42) <令和6年4月> 修士 (日本語教育学)	兼任	講師	スエヒロ マリコ 末廣 万里子 (42) <令和6年4月> 修士 (日本語教育学)
		日本語レポート 1 b			日本語レポート 1 b 日本語レポート 1 a 日本語聴解発話 1 a 日本語聴解発話 1 b			日本語レポート 1 b 日本語レポート 1 a 日本語聴解発話 1 a 日本語聴解発話 1 b			日本語レポート 1 b 日本語レポート 1 a 日本語聴解発話 1 a 日本語聴解発話 1 b
兼任	講師	スサ テツタロウ 須佐 徹太郎 (68) <令和8年4月> 体育学士	兼任	講師	スサ テツタロウ 須佐 徹太郎 (69) <令和8年4月> 体育学士	兼任	講師	スサ テツタロウ 須佐 徹太郎 (69) <令和8年4月> 体育学士	兼任	講師	スサ テツタロウ 須佐 徹太郎 (70) <令和8年4月> 体育学士
		スポーツ科学論a スポーツ科学論b			スポーツ科学論a スポーツ科学論b			スポーツ科学論a スポーツ科学論b			スポーツ科学論a スポーツ科学論b
兼任	講師	スズキ ヨシミ 鈴木 喜美 (59) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	スズキ ヨシミ 鈴木 喜美 (60) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	スズキ ヨシミ 鈴木 喜美 (61) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	スズキ ヨシミ 鈴木 喜美 (62) <令和6年4月> 文学修士
		メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語圏研究a 英語圏研究b			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語圏研究a 英語圏研究b			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語圏研究a 英語圏研究b			メディア・イングリッシュ 1 メディア・イングリッシュ 2 メディア・イングリッシュ 3 メディア・イングリッシュ 4 英語圏研究a 英語圏研究b
兼任	講師	セコ エツヨ 瀬古 悦世 (55) <令和6年4月> 修士 (言語教育学)	兼任	講師	セコ エツヨ 瀬古 悦世 (56) <令和6年4月> 修士 (言語教育学)	兼任	講師		兼任	講師	
		ビジネス日本語基礎a ビジネス日本語基礎b 日本語レポート 3 a 日本語レポート 3 b 日本語読解 1 a 日本語読解 1 b			ビジネス日本語基礎a ビジネス日本語基礎b 日本語レポート 3 a 日本語レポート 3 b 日本語読解 1 a 日本語読解 1 b						
兼任	講師	セト レイ 瀬戸 (金子) 麗 (30) <令和6年4月> 修士 (人間科学)	兼任	講師	セト レイ 瀬戸 (金子) 麗 (31) <令和6年4月> 修士 (人間科学)	兼任	講師		兼任	講師	
		ボランティア実践 a ボランティア実践 b			ボランティア実践 a ボランティア実践 b						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ソバジマ シナ 傍島 史奈 (49) <令和6年4月> 博士(学術)	ソバジマ シナ 傍島 史奈 (50) <令和6年4月> 博士(学術)
		中国語検定講座 a 中国語検定講座 b	
兼任	講師	タカギ ヒトシ 高木 仁 (43) <令和7年4月> 博士(文学)	タカギ ヒトシ 高木 仁 (44) <令和7年4月> 博士(文学)
		アメリカの地域と観光	
兼任	講師	タガミ ヒロシ 田上 博司 (68) <令和8年4月> 経営学士	タガミ ヒロシ 田上 博司 (69) <令和8年4月> 経営学士
		正解のない問の答えを考える	
兼任	講師	タカミチ ジュンコ 高道 純子 (65) <令和6年4月> 修士(心理臨床学)	タカミチ ジュンコ 高道 純子 (66) <令和6年4月> 修士(心理臨床学)
		教育学a 教育学b	
兼任	講師	タカミチ マサヨシ 高道 正能 (67) <令和6年4月> 修士(人間科学)	タカミチ マサヨシ 高道 正能 (68) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン	
兼任	講師	タケシタ ユキオ 竹下 幸男 (55) <令和7年4月> 博士(文学)	タケシタ ユキオ 竹下 幸男 (56) <令和7年4月> 博士(文学)
		現代アメリカ文化論	
兼任	講師	タケノ アキトモ 竹野 明倫 (37) <令和6年4月> 学士(英語学)	タケノ アキトモ 竹野 明倫 (38) <令和6年4月> 学士(英語学)
		スポーツ技術a スポーツ技術b	
兼任	講師	タチバナ ケンイチ 橋 健一 (58) <令和6年4月> 博士(学術)	タチバナ ケンイチ 橋 健一 (59) <令和6年4月> 博士(学術)
		文化人類学a 文化人類学b	
兼任	講師	チイ チョングム 池 清琴 (57) <令和6年4月> 修士(英語教授法)	チイ チョングム 池 清琴 (58) <令和6年4月> 修士(英語教授法)
		コリア語圏研究a コリア語圏研究b 韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語コミュニケーション3	
兼任	講師	チョウ ラン 張 蘭 (46) <令和6年4月> 修士(学術)	チョウ ラン 張 蘭 (47) <令和6年4月> 修士(学術)
		中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語コミュニケーション3	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ソバジマ シナ 傍島 史奈 (51) <令和6年4月> 博士(学術)	ソバジマ シナ 傍島 史奈 (52) <令和6年4月> 博士(学術)
		中国語検定講座 a 中国語検定講座 b	
兼任	講師	タカギ ヒトシ 高木 仁 (45) <令和7年4月> 博士(文学)	タカギ ヒトシ 高木 仁 (46) <令和7年4月> 博士(文学)
		アメリカの地域と観光	
兼任	講師	タカノ ユウコ 高野 裕子 (42) <令和7年4月> 修士(臨床教育学)	タカノ ユウコ 高野 裕子 (42) <令和7年4月> 修士(臨床教育学)
		スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb	
兼任	講師	タガミ ヒロシ 田上 博司 (70) <令和8年4月> 経営学士	タガミ ヒロシ 田上 博司 (71) <令和8年4月> 経営学士
		正解のない問の答えを考える 社会人としての教養講座 a ※	
兼任	講師	タカミチ マサヨシ 高道 正能 (69) <令和6年4月> 修士(人間科学)	タカミチ マサヨシ 高道 正能 (70) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン	
兼任	講師	タケシタ ユキオ 竹下 幸男 (57) <令和7年4月> 博士(文学)	タケシタ ユキオ 竹下 幸男 (58) <令和7年4月> 博士(文学)
		現代アメリカ文化論	
兼任	講師	タケノ アキトモ 竹野 明倫 (39) <令和6年4月> 学士(英語学)	タケノ アキトモ 竹野 明倫 (40) <令和6年4月> 学士(英語学)
		スポーツ技術a スポーツ技術b	
兼任	講師	タチバナ ケンイチ 橋 健一 (60) <令和6年4月> 博士(学術)	タチバナ ケンイチ 橋 健一 (61) <令和6年4月> 博士(学術)
		文化人類学a 文化人類学b	
兼任	講師	チイ チョングム 池 清琴 (59) <令和6年4月> 修士(英語教授法)	チイ チョングム 池 清琴 (60) <令和6年4月> 修士(英語教授法)
		コリア語圏研究a コリア語圏研究b 韓国語コミュニケーション1 韓国語コミュニケーション2 韓国語コミュニケーション3	
兼任	講師	チョウ ラン 張 蘭 (48) <令和6年4月> 修士(学術)	チョウ ラン 張 蘭 (49) <令和6年4月> 修士(学術)
		中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語コミュニケーション3	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	チョン ウンスク 丁 恩淑 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語検定講座a 韓国語検定講座b	兼任	講師	チョン ウンスク 丁 恩淑 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語検定講座a 韓国語検定講座b 韓国語検定講座c 韓国語検定講座d	兼任	講師	チョン ウンスク 丁 恩淑 (56) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） トラベル韓国語 韓国語で日本案内 韓国語検定講座a 韓国語検定講座b 韓国語検定講座c 韓国語検定講座d
兼任	講師	ツルシマ テツ 鶴嶋 鉄 (71) ＜令和6年4月＞ 農学博士 生命科学a 生命科学b	兼任	講師	ツルシマ テツ 鶴嶋 鉄 (72) ＜令和6年4月＞ 農学博士 生命科学a 生命科学b	兼任	講師	ツルシマ テツ 鶴嶋 鉄 (73) ＜令和6年4月＞ 農学博士 生命科学a 生命科学b
兼任	講師	ティ ヒサノブ 鄭（河東）久信 (63) ＜令和6年4月＞ 文学修士 フランス語 1 フランス語 2 フランス語 3 フランス語 4	兼任	講師	ティ ヒサノブ 鄭（河東）久信 (64) ＜令和6年4月＞ 文学修士 フランス語 1 フランス語 2 フランス語 3 フランス語 4	兼任	講師	ティ ヒサノブ 鄭（河東）久信 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士 フランス語 1 フランス語 2 フランス語 3 フランス語 4
兼任	講師	ナカイ ヒデアキ 仲井 秀昭 (69) ＜令和6年4月＞ 文学修士 フランス語 1 フランス語 2 フランス語 3 フランス語 4	兼任	講師	ナカイ ヒデアキ 仲井 秀昭 (70) ＜令和6年4月＞ 文学修士 フランス語 1 フランス語 2 フランス語 3 フランス語 4			
兼任	講師	ナカジマ シンペイ 中嶋 晋平 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（文学） マスメディア論a マスメディア論b	兼任	講師	ナカジマ シンペイ 中嶋 晋平 (43) ＜令和6年4月＞ 博士（文学） マスメディア論a マスメディア論b			
兼任	講師	ナカノ タカシ 中野 孝司 (62) ＜令和6年4月＞ 商経学士 スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb	兼任	講師	ナカノ タカシ 中野 孝司 (63) ＜令和6年4月＞ 商経学士 スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb	兼任	講師	ナカノ タカシ 中野 孝司 (65) ＜令和6年4月＞ 商経学士 スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb
						兼任	講師	ナカノ ヨウ 中野 陽 (54) ＜令和8年4月＞ 博士（言語文化学） 日本語レポート 2 a 日本語レポート 2 b 日本語読解 1 a 日本語読解 1 b 日本語読解 2 a 日本語読解 2 b
						兼任	講師	ナカヤマ マサト 中山 雅斗 (31) ＜令和8年4月＞ 修士（スポーツ科学） スポーツ技術 a スポーツ技術 b
						兼任	講師	ナワテ エリ 瀬 綾里 (56) ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ヨーロッパ芸術論 文化交流史 3
兼任	講師	ニシ アツシ 西 淳 (57) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 経済学a 経済学b	兼任	講師	ニシ アツシ 西 淳 (58) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 経済学a 経済学b	兼任	講師	ニシ アツシ 西 淳 (59) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 経済学a 経済学b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ニシダ ショウイチ 西田 彰一 (36) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ニシダ ショウイチ 西田 彰一 (37) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ニシダ ショウイチ 西田 彰一 (38) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ニシダ ショウイチ 西田 彰一 (39) <令和6年4月> 博士(学術)
		現代史a 現代史b			現代史a 現代史b			現代史a 現代史b			現代史a 現代史b
兼任	講師	ノムラ キヨ 野村 起世 (58) <令和6年4月> 工学士	兼任	講師	ノムラ キヨ 野村 起世 (59) <令和6年4月> 工学士	兼任	講師	ノムラ キヨ 野村 起世 (60) <令和6年4月> 工学士	兼任	講師	ノムラ キヨ 野村 起世 (61) <令和6年4月> 工学士
		応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン			応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン			応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン			応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン
兼任	講師	バク ソンギ 朴 成基 (48) <令和6年4月> 学士(商学)	兼任	講師	バク ソンギ 朴 成基 (49) <令和6年4月> 学士(商学)	兼任	講師	バク ソンギ 朴 成基 (50) <令和6年4月> 学士(商学)	兼任	講師	バク ソンギ 朴 成基 (51) <令和6年4月> 学士(商学)
		スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb スポーツ技術a スポーツ技術b
			兼任	講師	ハヤシ ナオキ 林 尚輝 (29) <令和6年4月> 博士(理学)				兼任	講師	ハマ ミチオ 濱 道生 (68) <令和7年4月> 工学博士
					地球環境科学a 地球環境科学b						自然科学史a 自然科学史b 物理学a 物理学b
			兼任	講師	ハン ヨンラン 韓 亨爛 (48) <令和6年4月> 修士(言語文化)				兼任	講師	ハン ヨンラン 韓 亨爛 (50) <令和6年4月> 修士(言語文化)
					韓国語実用会話1 韓国語実用会話2 トラベル韓国語						韓国語実用会話1 韓国語実用会話2 韓国語検定講座b トラベル韓国語 韓国語検定講座a
兼任	講師	ヒスマ タカコ 日沼 隆子 (68) <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	ヒスマ タカコ 日沼 隆子 (68) <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	ヒスマ タカコ 日沼 隆子 (69) <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	
		応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン			応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン			応用キャリアデザイン 基礎キャリアデザインa 基礎キャリアデザインb 発展キャリアデザイン			
兼任	講師	ファン エジン 黄 愛眞 (32) <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	ファン エジン 黄 愛眞 (33) <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	ファン エジン 黄 愛眞 (34) <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	ファン エジン 黄 愛眞 (35) <令和6年4月> 教育学修士
		韓国語検定講座a 韓国語検定講座b			韓国語検定講座a 韓国語検定講座b Kpopとドラマで学ぶ韓国語 トラベル韓国語			韓国語検定講座a 韓国語検定講座b Kpopとドラマで学ぶ韓国語			韓国語検定講座a 韓国語検定講座b Kpopとドラマで学ぶ韓国語 韓国語で日本案内 韓国語実用会話1
									兼任	講師	フクイ タケシ 福井 武司 (57) <令和8年4月> 教育学修士
											日本語レポート1a 日本語レポート1b 日本語聴解発話2a 日本語聴解発話2b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	フルヤブ ナオキ 古 数 直樹 (25) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）	兼任	講師	フルヤブ ナオキ 古 数 直樹 (26) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）	兼任	講師	フルヤブ ナオキ 古 数 直樹 (27) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）	兼任	講師	フルヤブ ナオキ 古 数 直樹 (28) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
		スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ技術a スポーツ技術b			スポーツ技術a スポーツ技術b
兼任	講師	ホウジョウ タカノリ 北 條 貴紀 (32) ＜令和6年4月＞ 学士（流通学）	兼任	講師	ホウジョウ タカノリ 北 條 貴紀 (33) ＜令和6年4月＞ 学士（流通学）	兼任	講師	ホウジョウ タカノリ 北 條 貴紀 (34) ＜令和6年4月＞ 学士（流通学）	兼任	講師	ホウジョウ タカノリ 北 條 貴紀 (35) ＜令和6年4月＞ 学士（流通学）
		スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb
兼任	講師	ホンダ アキラ 本 田 明 (46) ＜令和6年4月＞ 学士（商学）	兼任	講師	ホンダ アキラ 本 田 明 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（商学）	兼任	講師	ホンダ アキラ 本 田 明 (48) ＜令和6年4月＞ 学士（商学）	兼任	講師	ホンダ アキラ 本 田 明 (49) ＜令和6年4月＞ 学士（商学）
		スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb			スポーツ・トレーニングa スポーツ・トレーニングb
			兼任	講師	マスイ ナオミ 増 井 義雄典 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）						
					日本語読解 1 a 日本語読解 1 b 日本語聴解発話 1 a 日本語聴解発話 1 b 日本語レポート 2 a 日本語レポート 2 b						
兼任	講師	マスマト ケイコ 樹 元 慶子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	マスマト ケイコ 樹 元 慶子 (66) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	マスマト ケイコ 樹 元 慶子 (67) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	マスマト ケイコ 樹 元 慶子 (68) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		人間科学a 人間科学b			人間科学a 人間科学b			人間科学a 人間科学b			人間科学a 人間科学b
兼任	講師	マツモト ノリアキ 松 本 典昭 (67) ＜令和7年4月＞ 博士（文化史学）	兼任	講師	マツモト ノリアキ 松 本 典昭 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（文化史学）	兼任	講師	マツモト ノリアキ 松 本 典昭 (69) ＜令和7年4月＞ 博士（文化史学）			
		ヨーロッパ芸術論 文化交流史 3			ヨーロッパ芸術論 文化交流史 3			ヨーロッパ芸術論 文化交流史 3			
兼任	講師	ミナト ユキコ 湊 由紀子 (69) ＜令和6年4月＞ 博士（英語学英米文学）	兼任	講師	ミナト ユキコ 湊 由紀子 (70) ＜令和6年4月＞ 博士（英語学英米文学）						
		英語圏研究a 英語圏研究b			英語圏研究a 英語圏研究b						
兼任	講師	ミヤケ ヒロコ 三 宅 博子 (64) ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	ミヤケ ヒロコ 三 宅 博子 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士						
		ドイツ語 1 ドイツ語 2			ドイツ語 1 ドイツ語 2						
									兼任	講師	ミヤジマ ジュンコ 宮 嶋 純子 (47) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
											東洋史概説 東洋史概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ムラタ トシヤ 村田 敏也 (63) <令和7年4月> 修士 (IMP国際マネジメント実務)	兼任	講師	ムラタ トシヤ 村田 敏也 (64) <令和7年4月> 修士 (IMP国際マネジメント実務)	兼任	講師	ムラタ トシヤ 村田 敏也 (65) <令和7年4月> 修士 (IMP国際マネジメント実務)	兼任	講師	ムラタ トシヤ 村田 敏也 (66) <令和7年4月> 修士 (IMP国際マネジメント実務)
		営業活動実務 貿易実務実践 貿易実務入門			営業活動実務 貿易実務実践 貿易実務入門			営業活動実務 貿易実務実践 貿易実務入門			営業活動実務 貿易実務実践 貿易実務入門
兼任	講師	ムラタ ミチヤ 村田 充八 (71) <令和6年4月> 学術博士	兼任	講師	ムラタ ミチヤ 村田 充八 (72) <令和6年4月> 学術博士	兼任	講師	ムラタ ミチヤ 村田 充八 (73) <令和6年4月> 学術博士	兼任	講師	ムラタ ミチヤ 村田 充八 (74) <令和6年4月> 学術博士
		社会学a 社会学b			社会学a 社会学b			社会学a 社会学b			社会学a 社会学b
			兼任	講師	ムラモト ケンイチ 村元 健一 (52) <令和6年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	ムラモト ケンイチ 村元 健一 (53) <令和6年4月> 博士 (文学)			
					東洋史概論			東洋史概論			
兼任	講師	ムロヤマ ルミコ 室山 (徳山) 留美子 (54) <令和6年4月> 修士 (文学)	兼任	講師	ムロヤマ ルミコ 室山 (徳山) 留美子 (55) <令和6年4月> 修士 (文学)	兼任	講師	ムロヤマ ルミコ 室山 (徳山) 留美子 (56) <令和6年4月> 修士 (文学)	兼任	講師	ムロヤマ ルミコ 室山 (徳山) 留美子 (57) <令和6年4月> 修士 (文学)
		中国語圏研究a 中国語圏研究b			中国語圏研究a 中国語圏研究b			中国語圏研究a 中国語圏研究b			中国語圏研究a 中国語圏研究b
兼任	講師	モク チョンキュン 睦 宗均 (57) <令和6年4月> 博士 (言語文化学)	兼任	講師	モク チョンキュン 睦 宗均 (57) <令和6年4月> 博士 (言語文化学)						
		韓国語実用会話1 韓国語実用会話2			韓国語実用会話1 韓国語実用会話2						
兼任	講師	モリイ トモユキ 森井 友之 (38) <令和7年4月> 博士 (文化史学)	兼任	講師	モリイ トモユキ 森井 友之 (39) <令和7年4月> 博士 (文化史学)	兼任	講師	モリイ トモユキ 森井 友之 (40) <令和7年4月> 博士 (文化史学)	兼任	講師	モリイ トモユキ 森井 友之 (41) <令和7年4月> 博士 (文化史学)
		アジアの美術			アジアの美術			アジアの美術			アジアの美術
兼任	講師	モリモト ヨシオ 森本 芳生 (65) <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	モリモト ヨシオ 森本 芳生 (66) <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	モリモト ヨシオ 森本 芳生 (67) <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	モリモト ヨシオ 森本 芳生 (68) <令和6年4月> 教育学修士
		教育社会学 人権問題論a 人権問題論b			教育社会学 人権問題論a 人権問題論b			教育社会学 人権問題論a 人権問題論b			教育社会学 人権問題論a 人権問題論b
兼任	講師	ヤスナガ トモアキ 安永 知晃 (34) <令和6年4月> 博士 (歴史学)	兼任	講師	ヤスナガ トモアキ 安永 知晃 (35) <令和6年4月> 博士 (歴史学)	兼任	講師	ヤスナガ トモアキ 安永 知晃 (36) <令和6年4月> 博士 (歴史学)	兼任	講師	ヤスナガ トモアキ 安永 知晃 (37) <令和6年4月> 博士 (歴史学)
		ネットビジネス中国語 接客のための中国語 台湾華語			ネットビジネス中国語 接客のための中国語 台湾華語			ネットビジネス中国語 接客のための中国語 台湾華語			ネットビジネス中国語 接客のための中国語 台湾華語
兼任	講師	ヤマウチ アキヒロ 山内 章裕 (54) <令和6年4月> 修士 (経営学)	兼任	講師	ヤマウチ アキヒロ 山内 章裕 (55) <令和6年4月> 修士 (経営学)	兼任	講師	ヤマウチ アキヒロ 山内 章裕 (56) <令和6年4月> 修士 (経営学)	兼任	講師	ヤマウチ アキヒロ 山内 章裕 (57) <令和6年4月> 修士 (経営学)
		スポーツ文化論a スポーツ文化論b			スポーツ文化論a スポーツ文化論b			スポーツ文化論a スポーツ文化論b			スポーツ文化論a スポーツ文化論b
兼任	講師	ヤマオカ リョウタ 山岡 亮太 (47) <令和7年4月> 学士 (文学)	兼任	講師	ヤマオカ リョウタ 山岡 亮太 (48) <令和7年4月> 学士 (文学)	兼任	講師	ヤマオカ リョウタ 山岡 亮太 (49) <令和7年4月> 学士 (文学)	兼任	講師	ヤマオカ リョウタ 山岡 亮太 (50) <令和7年4月> 学士 (文学)
		ビジネス文書マナーa ビジネス文書マナーb			ビジネス文書マナーa ビジネス文書マナーb			ビジネス文書マナーa ビジネス文書マナーb			ビジネス文書マナーa ビジネス文書マナーb
兼任	講師	ヤマグチ コウタロウ 山口 弘多郎 (39) <令和6年4月> 文学博士	兼任	講師	ヤマグチ コウタロウ 山口 弘多郎 (40) <令和6年4月> 文学博士						
		倫理学a 倫理学b 論理学a 論理学b			倫理学a 倫理学b 論理学a 論理学b						
兼任	講師	ヤマサキ ミチオ 山崎 道雄 (43) <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	兼任	講師	ヤマサキ ミチオ 山崎 道雄 (44) <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	兼任	講師	ヤマサキ ミチオ 山崎 道雄 (45) <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	兼任	講師	ヤマサキ ミチオ 山崎 道雄 (46) <令和6年4月> 法務博士 (専門職)
		コンピュータと法			コンピュータと法			コンピュータと法			コンピュータと法
									兼任	講師	ヤマナシ ジュンペイ 山梨 純平 (40) <令和8年4月> 修士 (経営学)
											スポーツ技術 a スポーツ技術 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ヤマモト サユミ 山本 さゆみ (56) ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育学） 総合日本語a 総合日本語b 日本語レポート2a 日本語レポート2b 日本語聴解発話1a 日本語聴解発話1b 日本語読解2a 日本語読解2b	兼任	講師	ヤマモト サユミ 山本 さゆみ (57) ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育学） 総合日本語a 総合日本語b 日本語レポート2a 日本語レポート2b 日本語聴解発話1a 日本語聴解発話1b 日本語読解2a 日本語読解2b	兼任	講師	ヤマモト サユミ 山本 さゆみ (58) ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育学） 総合日本語a 総合日本語b 日本語レポート2a 日本語レポート2b 日本語聴解発話1a 日本語聴解発話1b 日本語読解2a 日本語読解2b 日本語読解1a 日本語読解1b	兼任	講師	ヤマモト サユミ 山本 さゆみ (59) ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育学） 総合日本語a 総合日本語b 日本語レポート2a 日本語レポート2b 日本語聴解発話1a 日本語聴解発話1b 日本語読解2a 日本語読解2b 日本語読解1a 日本語読解1b
兼任	講師	リ プンエイ 李 文英 (59) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語検定講座a 中国語検定講座b	兼任	講師	リ プンエイ 李 文英 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語検定講座a 中国語検定講座b	兼任	講師	リ プンエイ 李 文英 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語検定講座a 中国語検定講座b	兼任	講師	リ プンエイ 李 文英 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 中国語コミュニケーション1 中国語コミュニケーション2 中国語検定講座a 中国語検定講座b
兼任	講師	ワカサ トモコ 若狭（清井） 智子 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 外国文学a 外国文学b	兼任	講師	ワカサ トモコ 若狭（清井） 智子 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 外国文学a 外国文学b	兼任	講師	ワカサ トモコ 若狭（清井） 智子 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 外国文学a 外国文学b	兼任	講師	ワカサ トモコ 若狭（清井） 智子 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 外国文学a 外国文学b
			兼任	講師	ワタナベ リワ 渡辺 理和 (47) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 倫理学a 倫理学b 倫理学a 倫理学b	兼任	講師	ワタナベ リワ 渡辺 理和 (48) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 倫理学a 倫理学b 倫理学a 倫理学b	兼任	講師	ワタナベ リワ 渡辺 理和 (49) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 倫理学a 倫理学b 倫理学a 倫理学b

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

【兼任】

- ・科目担当者変更により上赤坂佳孝を除外

【兼任】

- ・秋山みきが就任（ボランティア実践 a、ボランティア実践 b）
- ・石井 雄二が就任（現代地理学 a、現代地理学 b、文化地理学 a、文化地理学 b）
- ・李眞善が就任（Kpopとドラマで学ぶ韓国語）
- ・漆原誠が辞任
- ・大江麻里子が辞任
- ・金（金山）幸隆が辞任
- ・科目担当者変更により下平雪雄を除外
- ・末廣万里子が就任（日本語レポート1 b）
- ・須佐徹太郎が就任（スポーツ科学論 a、スポーツ科学論 b）
- ・瀬古悦世が辞任
- ・瀬戸（金子）麗が辞任
- ・高野保男が就任（倫理学 a、倫理学 b、論理学 a、論理学 b）
- ・高道純子が辞任
- ・中嶋晋平が辞任
- ・林尚輝が就任（地球環境科学 a、地球環境科学 b）
- ・韓章燦が就任（韓国語コミュニケーション1、コリア語1、韓国語実用会話1）
- ・増井奈穂美が就任（日本語読解1 a、日本語読解1 b、日本語聴解発話1 a、日本語聴解発話1 b、日本語レポート2 a、日本語レポート2 b）
- ・三宅博子が辞任
- ・村元健一が就任（東洋史概論）
- ・陸宗均が辞任
- ・山口弘多郎が辞任
- ・渡辺理和が就任（倫理学 a、倫理学 b）

【令和7年度】

【専任】

- ・松村嘉久が学部長退任
- ・科目担当者変更等により段家誠を除外
- ・来村多加史が定年退職

【兼任】

- ・西洋が辞任
- ・科目担当者変更等により花川典子を除外
- ・濱道生が辞任
- ・濱口喜広が就任（マクロ経済学、日本経済論1、日本経済論2）
- ・科目担当者変更等により光安知佳子を除外

【兼任】

- ・李眞善が辞任
- ・假谷祥子が辞任
- ・木村光祐が就任（地球環境科学 a、地球環境科学 b）
- ・白石晃が辞任
- ・高野裕子が就任（スポーツ・トレーニング a、スポーツ・トレーニング b）
- ・高野保男が辞任
- ・仲井秀昭が辞任
- ・暁絵里が就任（ヨーロッパ芸術論）
- ・濱道生が就任（自然科学史 a、自然科学史 b、物理学 a、物理学 b）
- ・林尚樹が辞任
- ・林七虹が就任（健康科学論 a、健康科学論 b）
- ・増井奈穂美が辞任
- ・湊由妃子が辞任
- ・李陽浩が就任（アジアの地域と観光）

【令和8年度】

【専任】

- ・段家誠が再就任（演習導入、観光開発論、基礎演習、国際学への招待、国際協力論、国際平和論、専門演習2 a、専門演習2 b、大学入門ゼミ a、大学入門ゼミ b、民間協力（NGO/NPO）論）

【兼任】

- ・池田雄二が「教授」に昇任。
- ・賀川真理が就任（国際学への招待）
- ・末田航が就任（社会人としての教養講座 a）
- ・科目担当者変更等により陳力（関中間史）を除外
- ・平山弘が就任（教育社会学）
- ・前田利之が辞任
- ・矢倉研二郎が就任（社会人としての教養講座 a）
- ・岩崎領が就任（スポーツ技術 a、スポーツ技術 b）
- ・上赤坂佳孝が再就任（教養演習1 b）
- ・重谷陽一が辞任
- ・杉本匡史が辞任
- ・橋爪亮が就任（現代日本事情 b）
- ・寺口司が就任（消費者の心理）
- ・光安知佳子が再就任（スポーツ・トレーニング a、健康科学論 a、健康科学論 b）

【兼任】

- ・相原進が辞任
- ・李鉉淑が辞任
- ・禹昭娟が就任（韓国語コミュニケーション3、韓国語ビジネス1、韓国語ビジネス2、Kpopとドラマで学ぶ韓国語）
- ・大塚正博が就任（観光資源解説方法論）
- ・岡田和一郎が就任（中国語で日本案内、ポスト留学中国語）
- ・喜多努が就任（スポーツ技術 a、スポーツ技術 b）
- ・金旻貞が辞任
- ・小松紀子が就任（ドイツ語1、ドイツ語2、外国文学 a、外国文学 b）
- ・齋藤正己が就任（観光調査法、観光政策論）
- ・酒井滋子が就任（ビジネス日本語基礎 a、ビジネス日本語基礎 b、日本語レポート2 a、日本語レポート2 b、日本語レポート3 a、日本語レポート3 b、日本語聴解発話1 a、日本語聴解発話1 b、日本語読解1 a、日本語読解1 b）
- ・四方篤が就任（アフリカの地域と観光）
- ・重谷洋一が就任（観光事業論、航空産業論、卒業研究、大阪観光学）
- ・全恵松が就任（韓国語コミュニケーション4、トラベル韓国語、韓国語検定講座 a、韓国語検定講座 b）
- ・高野裕子が辞任
- ・丁恩淑が辞任
- ・豊田裕章が就任（日本史 a、日本史 b）
- ・中野陽が就任（日本語レポート2 a、日本語レポート2 b、日本語読解1 a、日本語読解1 b、日本語読解2 a、日本語読解2 b）
- ・中山雅人が就任（スポーツ技術 a、スポーツ技術 b）
- ・林七虹が辞任
- ・日沼隆子が辞任
- ・福井武司が就任（日本語レポート1 a、日本語レポート1 b、日本語聴解発話2 a、日本語聴解発話2 b）
- ・福居奈名絵が就任（哲学 a、哲学 b）
- ・藤井孝則が就任（AI・データサイエンス入門1、AI・データサイエンス入門2）
- ・白瑠晶が就任（韓国語コミュニケーション1、韓国語コミュニケーション2）
- ・松本典昭が辞任
- ・宮島純子が就任（東洋史概説、東洋史概論）
- ・村元健一が辞任
- ・山梨純平が就任（スポーツ技術 a、スポーツ技術 b）
- ・山本源大が就任（哲学 a、哲学 b）
- ・和田渡が就任（社会人としての教養講座 b）

- (注)・変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C 教員審査）を受けてください。原則として A C 教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9	5
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
10	6	0	0	16	0	10	5	0	0	15	0
(11)	(5)	(0)	(1)	(16)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
10	5	0	0	15	0	10	6	0	0	16	0
[0]	[△1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
67	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してくだ

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) = $\frac{15}{16}$ = 93.75 %

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	重谷 陽一	R6.3	選択	演習導入 ※	①	R8.3.31付け自己都合のため辞任（８）						
				選択	観光事業論	②							
				必修	基礎演習	①							
				選択	航空産業論	②							
				必修	専門演習１a	①							
				必修	専門演習１b	①							
				必修	専門演習２a	①							
				必修	専門演習２b	①							
				必修	卒業研究	②							
				選択	大学入門ゼミ a	①							
				選択	大学入門ゼミ b	①							
				選択	大阪観光学 ※	②							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	8	科目	計	4	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	6 科目	必修	5 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	8 科目	計	4 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{16} = 6.25 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

その他の理由により退職した専任教員については、担当予定科目を実施出来るよう後任補充を決定した。
 なお、演習科目については、指導教員が継続して担当し、履修学生の学修に影響がないようにしている。
 今後も、教育の質を維持した適正な授業実施を進めるとともに、必要に応じて履修学生へのフォローやサポートも実施していく。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年度)	該当なし	【届出】 留意事項	
届出時 (令和5年度)	該当なし	【届出】 遵守事項	
届出時 (令和5年度)	該当なし	【届出】 助言事項	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	該当なし	【A C】 指摘事項 (改善)	

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。

【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際観光学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

大学教育センターにおいて、FD・SD活動を統括しており、そのもとで全学FD・SD、各学部等FD・SD、各部署主催研修に取り組んでいる。

国際観光学科は専任教員全員をFD・SD部会と定め、以下を活動課題とした。

- ・離学者対策会議
- ・国際観光学科入学者の傾向と学生募集対策
- ・国際学部における教員のAI知識の向上とノウハウの習得
- ・国際学部導入科目「国際学への招待」の検証

② 実施状況

a 実施内容

国際観光学科では、2025年度のFD・SD活動として、以下の内容を中心に研修・検討・情報共有を実施した。

- ・離学者対策会議
- ・国際観光学科入学者の傾向と学生募集対策
- ・国際学部における教員のAI知識の向上とノウハウの習得
- ・国際学部導入科目「国際学への招待」の検証
- ・離学者対策会議の継続実施

離学者対策では、単位過少学生や欠席が続く学生への対応を中心に、対象学生の情報共有、学生相談室との連携、学生の居場所づくり等について検討した。6月及び11月に会議を実施し、英語クラスや「異文化理解入門」の欠席状況を共有するとともに、欠席過多学生への指導方法について意見交換を行った。

学生募集対策では、2025年度入学生の属性・志望動機・行動特性を分析し、今後の募集戦略について検討した。特に、観光業界に関心を持つ女子層、保護者、高校教員への情報発信、専願入試の活用、観光ビジネス・文化・まちづくりの3分野にわたる教育コンテンツの提供等について意見交換を行った。

また、国際学部共通の取組として、AI活用に関する研修及び国際学部導入科目「国際学への招待」の検証にも参加した。「国際学への招待」については、ガイダンス資料、共通授業ノート、出席状況、単位認定試験結果、成績分布、授業アンケート結果等に基づき、科目の現状と改善点を検討した。

b 実施方法

対面での会議・研修を中心に実施した。

離学者対策会議及び学生募集対策に関するFDIは、8号館3階会議室で実施し、国際観光学科教員による情報共有及び意見交換を行った。

離学者対策では、英語クラスや関連科目の欠席情報、単位過少学生の状況、気になる学生の情報を共有し、必要に応じて学生相談室への相談・連携を行う方法を確認した。

国際学部共通のAI研修及び「国際学への招待」の検証では、国際コミュニケーション学科と合同で実施し、外部講師による講演、授業資料・成績・授業アンケート結果等の共有、担当教員による報告を通じて、教育改善に向けた検討を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・6月13日 「離学者対策会議」
参加者：国際観光学科教員
ゲスト参加者：永田先生、仲村渠先生
内容：英語クラス欠席情報の共有、欠席が続く学生への対策、学生の居場所づくり等
- ・7月11日 「国際観光学科入学者の傾向と学生募集対策」
参加者：国際観光学科教員
内容：2025年度入学生の傾向分析、ターゲット層の明確化、保護者・高校教員への情報発信、専願入試の活用、教育コンテンツの提供等
- ・9月5日 「国際学部における教員のAI知識の向上とノウハウの習得」
実施形態：国際コミュニケーション学科との合同実施
内容：AIの基礎知識、活用方法、教育現場での活用可能性に関する研修
- ・10月3日 「国際学への招待」の検証
実施形態：国際コミュニケーション学科との合同実施
参加者：別の校務に従事していた教員を除く学部教員
内容：授業資料、出席状況、成績分布、授業アンケート結果等に基づく検証
- ・11月21日 「離学者対策会議」
参加者：国際観光学科教員
ゲスト参加者：永田先生、仲村渠先生
内容：英語クラス欠席情報、「異文化理解入門」の出席状況、欠席が続く学生に関する情報共有、欠席過多学生への指導に関する助言

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、以下のような授業改善・学生支援の取組を進めた。

- ・単位過少学生のリストを共有し、離学者対策会議において対象学生の状況を教員間で把握し、継続的なサポートにつなげた。
- ・欠席が続く学生や気になる学生について、早期に学生相談室へ相談すること、また学生本人にも相談室利用を促すことの重要性を確認した。
- ・英語クラス及び「異文化理解入門」の出席状況を共有し、欠席過多学生に対する早期対応の必要性を確認した。
- ・通信制高校出身者の増加や、グループ活動を苦手とする学生への対応を課題として共有し、スモールステップを意識した支援の必要性を確認した。
- ・学生募集対策では、入学者の傾向を踏まえ、ターゲット層に応じた広報、保護者・高校教員への情報発信、専願入試の活用、観光ビジネス・文化・まちづくりの3分野を軸とした教育内容の発信を今後の課題として確認した。
- ・「国際学への招待」の検証を通じて、新入生が国際学部の学びの広がりや各分野の特色を理解できるよう、授業構成、資料、学習目標の明確化を継続的に改善していく必要性を共有した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、授業の改善と学生の学修効果の向上を目的に、平成12(2000)年度から年2回、原則全ての授業でアンケートを実施している。回答はWEB登録（PC・スマホ）とし、授業中の5分程度で回答できる内容となっている。

2025年度は前期後期でそれぞれ以下の回答状況であった。

（前期）対象授業数：731、対象学生：4,012名、回答率：49.5%

（後期）対象授業数：909、対象学生：4,078名、回答率：37.1%

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、回答した学生のみならず、全学生および教職員にも公開している。これは、アンケートに回答した学生自らの意見や要望が授業改善にどのように反映されているかを実感することにより、学生と教員との信頼関係を深め、最学生の授業満足度の向上につなげることを目的とするものである。

さらに、公開されるアンケート結果には、各科目の担当教員が、学生へのアドバイスや今後の授業改善に資する内容として「コメント」を記載しており、次年度の授業計画（シラバス）にも掲載している。

なお、2025年度アンケートにおける教員コメント入力率は以下のとおりである。

（前期） 35.3% （後期） 64.7%

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（設置の趣旨・目的）

国際学部は、コミュニケーション力と幅広い教養を身につけ、文化の多様性を理解することで、国際社会で実践的に活躍できる人材を育成することを目的としている。

特に、国際観光学科においては、幅広い教養と国際観光に関する専門知識を修得し、異文化および自文化を理解した高度なコミュニケーション力と調査・分析力を身につけ、グローバルかつローカルな視点から地域社会や企業等で問題解決に導くことができる、国際社会で活躍できる実践力のある人材を養成する。

設置の趣旨・目的を履行すべく学部学科を運営し、取り組みを行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・2019年度に受審した公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）結果、改善報告書に対する検討結果等を大学ホームページにて公表中

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書、大学基礎データ及び外部評価結果を大学ホームページにて公表中

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和8年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審する予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。